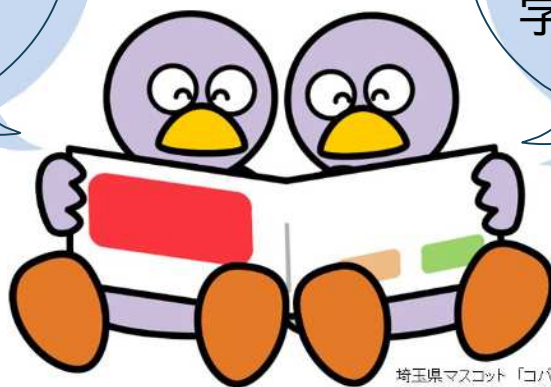


～令和7年度後期～ 大学の開放授業講座 受講生募集案内

対象：
県内在住
55歳以上
の方

一般の学生と
一緒に
学んでみませんか？



埼玉県マスコット「コバトン」

様々な分野の授業を
開放しています



実施大学

- 聖学院大学
(上尾市)
- 日本薬科大学
(伊奈町)
- 東京国際大学
(川越市)
- 東邦音楽大学
(川越市)
- 埼玉県立大学
(越谷市)
- 文教大学
(越谷市)
- 埼玉東萌短期大学
(越谷市)
- 国際学院埼玉短期大学
(さいたま市大宮区)
- 埼玉大学
(さいたま市桜区)
- 浦和大学
(さいたま市緑区)
- 城西大学
(坂戸市)
- 西武文理大学
(狭山市)
- 十文字学園女子大学
(新座市)
- 東京電機大学
(鳩山町)
- 埼玉工業大学
(深谷市)
- 東都大学
(深谷市)
- 文京学院大学
(ふじみ野市)
- 日本工業大学
(宮代町)
- 淑徳大学
(三芳町)
- 武蔵丘短期大学
(吉見町)
- 日本社会事業大学
(東京都清瀬市)

～ 目 次 ～

【共通事項】

共通事項	2 ページ
------	-------

【各大学のページ】

聖学院大学（上尾市）	4 ページ
日本薬科大学（伊奈町）	8 ページ
東京国際大学（川越市）	14 ページ
東邦音楽大学（川越市）	16 ページ
埼玉県立大学(越谷市)	19 ページ
文教大学(越谷市)	25 ページ
埼玉東萌短期大学(越谷市)	28 ページ
国際学院埼玉短期大学(さいたま市大宮区)	30 ページ
埼玉大学(さいたま市桜区)	32 ページ
浦和大学(さいたま市緑区)	34 ページ
城西大学(坂戸市)	36 ページ
西武文理大学(狭山市)	44 ページ
十文字学園女子大学(新座市)	49 ページ
東京電機大学(鳩山町)	53 ページ
埼玉工業大学(深谷市)	57 ページ
東都大学(深谷市)	61 ページ
文京学院大学(ふじみ野市)	63 ページ
日本工業大学(宮代町)	67 ページ
淑徳大学(三芳町)	70 ページ
武蔵丘短期大学(吉見町)	74 ページ
日本社会事業大学(東京都清瀬市)	76 ページ

【巻末資料】

大学別・科目別一覧表	79 ページ
------------	--------

【協定大学一覧】	82 ページ
----------	--------

共通事項

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各大学にてマスク着用、入室前のアルコール消毒等をお願いする場合があります。
また、受講方法が変更となる場合があります。
詳しくは、各大学にお問合せください。

1 大学の開放授業講座について

県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくため、県と県内・近隣にキャンパスを構える24大学が協力し、授業科目の一部を開放いたします。また、授業は一般の学生と一緒にを行います。

「学ぶこと」に意欲あふれる元気な皆様の積極的なお申込みをお待ちしております。

2 応募資格

県内在住で昭和45年4月1日以前に生まれた方

3 授業科目・担当教官・定員・受講料など

各大学のページまたは巻末の「大学別・科目別一覧表」をご覧ください。受講科目の概要については各大学のページに掲載しています。
講義内容の詳細をお知りになりたい場合は、各大学へ直接お問い合わせください。

時間割などについて変更があった場合は、県専用ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

●県専用ホームページURL

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/4-rikarento.html>

埼玉県 大学の開放授業講座

検索



4 単位等

単位は認定されません。

5 申込期間

令和7年8月1日から各大学が指定する締切日まで

6 申込先・方法

各大学のページをご確認の上、各大学が指定する申込み方法により、直接申し込んでください。

7 個人情報について

個人情報につきましては、各大学において適正な管理と保護に努めております。申込み時に記入していただいた個人情報については、各大学において、本開放授業講座に関すること、申込みに付随する統計処理に関すること、実施する行事等の案内に関すること以外の目的には使用いたしません。

8 通学について

原則として、公共交通機関やスクールバスにより通学してください。

※大学によっては自家用車による通学が可能な場合があります。詳しくは各大学のページをご確認ください。

9 受講について

各大学の規則に反した場合は、受講をお断りする場合があります。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

実施時期	科目名	曜日・時限	授業時間	定員
【大学】 2025 年度 秋学期 (9 月～2 月)	キリスト教概論 B (※1)	火曜 3 限 or 火曜 5 限 or 金曜 1 限 or 金曜 3 限	13:00～14:30 17:00～18:30 9:00～10:30 13:00～14:30	若干名
	社会科学とプログラミング	木曜 1 限 木曜 2 限	9:00～10:30 10:40～12:10	若干名
	日本文学研究と批評(古典 2)	金曜 4 限 金曜 5 限	15:20～16:50 17:00～18:30	若干名
	Smile English(幼児の英語)	木曜 2 限	10:40～12:10	若干名
	ファンタジー論 (※2)	月曜 4 限 オンライン	14:40～16:10	若干名
	社会老年学	月曜 4 限	14:40～16:10	若干名
	精神障害リハビリテーション論	木曜 1 限	9:00～10:30	若干名

※1: 4 クラスのうち、1 クラス選択

※2: オンライン授業含む

※ 授業回数について

◇週 1 回授業 (15 回)

キリスト教概論 B、Smile English(幼児の英語)、社会老年学、
精神障害リハビリテーション論

◇週 2 回授業 (30 回・週 1 回 2 時限連続を含む)

社会科学とプログラミング、日本文学研究と批評(古典 2)、
ファンタジー論 (うち 1 回はオンライン授業)

※ 受講人数により開講しない場合がございます。

※ 学事スケジュールの都合により、一部授業日等が変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※ 教員は、担当授業に関するご質問やご相談には対応いたしますが、それ以外の内容にはお応えできかねる場合がございますので、ご了承ください。

※ 授業は 9 月 29 日(月)から開始します。

(2) 場 所

聖学院大学キャンパス

JR 高崎線宮原駅から徒歩 15 分、または学生バス

JR 埼京・川越線西大宮駅から学生バス

JR 埼京・川越線日進駅から徒歩 15 分

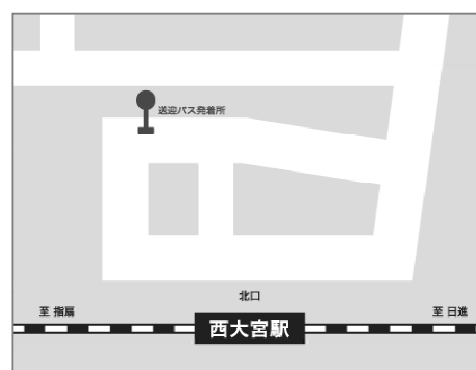
※学生バスは利用券を購入いただきます。

※車での通学はできません。

【宮原駅西口(高崎線)のりば】



【西大宮駅西口(埼京・川越線)のりば】



2 受講料等

(1) 受講料 週 1 回科目 5,000 円

週 2 回科目 10,000 円

※ 受講料は、後日指定方法にて納入いただきます。

※ 一旦納入された受講料につきましては、お返しができませんので、あらかじめご了承ください。

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和 7 年 8 月 29 日 (金) 消印有効

(2) 申込先 〒362-8585 上尾市戸崎 1-1

聖学院大学 学務部教育支援課 リカレント教育係

電話：048-780-1801

E-mail：acadaffairs@seigakuin-univ.ac.jp

(3) 申込方法

E-mail または 郵便はがきにて、以下の事項をもれなく記入のうえ、お申し込みください。

- ① 郵便番号、住所、電話番号
- ② 氏名
- ③ ふりがな
- ④ 年齢（令和7年4月1日現在）
- ⑤ 生年月日
- ⑥ 性別
- ⑦ 受講希望科目（希望順に記入、何科目でも可）
- ⑧ 学籍番号 ※受講経歴のある方のみ

(4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
（受講の可否および受講決定科目は申込者全員にお知らせします。）

(5) その他

- 受講許可科目、ガイダンス日時等は9月10日前後にお知らせいたします。
その際に、個人調書等のご提出をご案内いたします。
- 申し込み後、都合により受講できなくなった場合は、早めにご連絡ください。
- 社会情勢(コロナウィルス感染状況等)ならびに授業担当者の都合により、授業の一部をオンラインにて受講いただく可能性がございます。その場合は、大学ではなくご自宅等での受講となりますので、インターネット通信環境・インターネットに接続可能な端末等が必要です。通信料などは受講者負担です。
- 本学の授業実施方法、講義内容、事務手続き方法等について、ご承諾のうえお申し込みください。

以上の点につきましても、あらかじめご了承のうえでお申し込みくださいますようお願いいたします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

キリスト教概論B 【木村 太郎】	初めてキリスト教に触れる学生たちへの理解しやすいキリスト教入門となるように心がけつつ、秋学期は、主として聖書の後半部分の新約聖書について、また、教会の歴史を俯瞰することを通してキリスト教史について学ぶ。
社会科学と プログラミング 【渡辺 英人】	現代社会におけるさまざまな「活動」にとって「情報」はもっとも重要な要素であると考えられている。この授業では国内外の公的機関、企業等によるさまざまな公開情報を「効率よく発見、収集、蓄積」し、そしてこれを「分析」するための手法としての「プログラミング」技術を解説、実習、さらに応用する。さまざまな公開情報にアクセスして「社会科学＝調査・分析・実証」とその手法としての「プログラミング」を理解してもらう。授業は毎回マルチメディア教室で行う。受講者全員が一斉に授業を開始し、一斉に終了する。けっして遅刻、欠席しないこと。基礎から応用まで解説する。初心者や情報機器等に対して苦手意識のある人ほど参加して欲しい。※授業の内容を予習・復習するために自宅にオンライン授業等で使用できる程度のパーソナルコンピュータを用意して欲しい。※「リカレント：社会人受講生の受け入れ」を予定している。そのため「社会人基礎力養成」および「リスキリング：社会における実践力養成」を含んで解説する。
日本文学研究と 批評(古典2) 【木下 綾子】	平安時代に唐から伝来し、大流行した白居易の『白氏文集』『長恨歌』と陳鴻「長恨歌伝」、その影響を受けた紫式部の『源氏物語』や菅原道真の『菅家文草』『菅家後集』を読み比べます。前半は愛する女性を失った男性の長きにわたる痛み、悲しみに注目します。後半はさすらいの悲しみや当地における男女・男同志の交流、琴のモチーフを読み解きます。
Smile English (幼児の英語) 【小川 隆夫】	本授業では子どもたちの発達段階に沿った「英語との幸せな出会い」を実現させるために、母語の習得を踏まえた第二言語習得理論の基礎から、英語の歌や絵本の読み聞かせの方法、CLIL（内容言語統合型学習）の手法を用いた教材の作り方、DVDやYouTubeの活用法など、子どもたちに楽しく英語に触れさせるための実践的な方法を学ぶ。受講者は自ら楽しく英語に触れ、簡単な英語でコミュニケーションを取る楽しさを味わい、歌い、踊ったりするとともに、最新のYouTube教材の鑑賞やICTを活用した指導などを体験するため、英語の得意不得意に関係なく受講できる内容である。
ファンタジー論 【松本 祐子】	この授業では、まず、神話・伝説・昔話の中にファンタジーの源流を探り、次に、魔法の生き物、ファンタジーの空間、ファンタジーの時間、異形のものたち（ヴァンパイア、人造人間、不老不死）、魔法使いと魔女など、様々な項目ごとにファンタジー作品の分析を試みる。また、おとぎ話、児童文学を下敷きにしたディズニー映画をその原作と比較しつつ、ディズニー映画の人気の理由とその功罪について考える。
社会老年学 【古谷野 亘】	人生の後半で経験する変化を取り上げ、人が“高齢者”となっていく過程を検討する。そして、個人の高齢化の理解を前提として、高齢者の割合が高い社会（高齢社会）への移行に際して問題となる事象、また特に高齢社会への移行が急速であった場合に深刻になる事象を明らかにする。
精神障害 リハビリテーション論 【小沼 聖治】	①精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則 ②精神障害リハビリテーションの構成及び展開 ③精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関 ④精神障害リハビリテーションの動向と実際

にほんやっかだいがく

日本薬科大学

1 講義名・定員など

(1) 開放講義

科 目 名	担当教員	曜日	時限	定員	備考
社会・集団と健康 (薬学科 3 年)	教 授 樋口敏幸	火	2	50 名 程度	1 限 9:15～10:45 2 限 11:00～12:30 昼休 12:30～13:30 3 限 13:30～15:00 4 限 15:15～16:45 5 限 17:00～18:30
免疫学 (薬学科 2 年)	教 授 渡邊峰雄	火	2		
応用化粧品論 (医療ビジネス薬科学科 2 年)	教 授 白土真紀	火	2		
有機化合物としての医薬Ⅰ (薬学科 1 年)	准教授 高山博之	火	2		
生薬・薬膳論 (医学科栄養 3 年)	講 師 糸数七重	火	2		
漢方処方学＊ (薬学科 4 年)	講 師 糸数七重	水	2		
症候と臨床検査 (薬学科 3 年)	教 授 勝山 壮 講 師 千葉輝正	木	1		
スポーツマネジメント学 (医療ビジネス薬科学科 3 年)	講 師 松永修司	木	1		
生体の構造と機能 (薬学科 1 年)	教 授 前田智司	木	2		
衛生科学 (医療ビジネス薬科学科 2 年)	講 師 今井菜美	木	2		
薬理Ⅱ (薬学科 2 年)	教 授 櫻田 誓 講 師 千葉輝正	木	2		
疾病と治療薬 (医療ビジネス薬科学科 3 年)	教 授 井上裕子	木	2		
ニュースポーツⅡ (医療ビジネス薬科学科 1 年)	教 授 縣 右門 教 授 村橋 毅	木	3・4		
生命をミクロに理解する (医療ビジネス薬科学科 1 年)	准教授 岡田直子	金	2		
臨床栄養学 (医療ビジネス薬科学科 3 年)	教 授 高橋 徹	金	1		

○ 授業の都合上、上記曜日・時限が変更となる可能性があります。

○ ＊印の講義は 8～10 回、それ以外の講義は 14～16 回を予定しています。

○ お申込の際は、「5 各講義の概要及び担当教員」をご参考にしてください。

(2) 講義受講にあたっての注意事項

- 担当教員は都合により変更になる場合があります。
- 曜日・時間・講義室が変則的になる場合があります。その際は追ってご連絡します。
- 講義で使用する教科書は追ってお知らせしますので、書店やインターネット等を通じて各自でご購入ください。
- 本学はお茶の水にもキャンパスがあります。2つのキャンパスで同時に授業を行うため、講義によってはオンライン講義（オンデマンド配信）になる可能性があります。その際はご自宅での受講または本学での教室での受講となりますので、インターネットに接続できる端末・インターネット通信環境が必要となります。

2 受講料・受講の申込み

- (1) 受講料 1科目（半期）につき10,000円

※教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

- (2) 申込期限 令和7年8月19日（火）必着

- (3) 申込方法

以下の事項をもれなくご記入の上、下記お問合せ先に郵便はがき、FAX、またはメールでお申込みください。

- 住所
- 氏名(フリガナ)
- 性別
- 年齢（令和7年4月1日現在）
- 電話番号
- メールアドレス
- 受講希望講義・担当教員名（重複のない限り何科目でも可）

なお、スマートフォンあるいはパソコンを利用した Forms(受講申込フォーム)によるお申込みも可能です。下記 QR コードを読み込むか URL を入力してお申込ください。

【大学開放授業講座 令和7年度後期日本薬科大学受講申込フォーム】



<https://forms.office.com/r/9t4z9UPk32>

5 各講義の概要及び担当教員

社会・集団と健康 【生活・環境】 (教授 樋口敏幸)	健康と疾病の概念、恒常性維持のための生体防御機構、人間集団の健康状態を把握するための保健統計(年齢3区分別人口、出生率、死亡率、疾病別死亡率など)、平均余命、平均寿命、健康寿命、疾病の原因と対策を考える疫学、感染症とその予防対策、生活習慣病の疫学と予防対策、職業病とその予防のための労働衛生、母子保健、学校保健などについて学び、社会における集団の健康と疾病の現状とその影響要因を理解し、疾病の予防に関する基礎知識を習得します。さらに、大学周辺地域における健康管理や疾病予防・治療への取り組み等の公衆衛生活動を紹介します。
漢方処方学 【漢方・健康】 (講師 糸数七重)	漢方処方学は古典的な観点と現代医学的観点のいずれか、もしくは両方に基づき処方されます。薬剤師として、医師の処方意図を理解したり、また、自ら処方する場合には、両方の考え方を理解しておく必要があります。本講義では、前半では日本薬局方に収載されている頻用処方に関する古典的観点からの解説を、後半では実際に漢方処方が頻用される高齢者医療を題材として、臨床における漢方処方の使用方法の考え方に関する解説を行います。
生薬・薬膳論 【漢方・健康】 (講師 糸数七重)	「生薬」「食薬区分」に関する法的な定義を解説します。まず、薬膳とは何か、日本で薬膳がどのように捉えられているかについて概説し、そのうえで、日本における薬膳の実践、日本以外の伝統的東洋医学(中医学・韓医学・アーユルヴェーダ)を有する文化圏・それ以外の文化圏における「薬膳」および「薬膳的食べ方」もしくは「身体によいとされる食べ方」の実際について、招聘講師による講義や実習も交え、具体例を挙げながら紹介します。外部講師の都合により、講義の順序や日程が変更となる可能性がありますのでご了承下さい。
衛生科学 【生活・環境】 (講師 今井菜美)	食品の製造、管理、保存等が不適切であると様々な疾病を罹患するため、食の安全性を確保することは健康な生活を営む上で重要です。本講義では、食品の変質とその防止策、食品添加物、遺伝子組換え食品など様々な食品の用途や食品衛生に関する法的規制等を学びます。さらに、食品由来の発がん物質、食中毒の原因とその予防法等を学び、安全な食生活を実践するための基礎知識の習得を目指します。
薬理Ⅱ 【健康等】 (教授 櫻田 誓) (講師 千葉輝正)	「薬理Ⅱ」では、人体の構造・機能およびその調節に関する基本的な事項を基盤として、病気に関連する治療薬の薬理作用(作用点、作用機序、主な副作用)に関する知識の習得を目指します。この科目は、機能形態学および病態生理学の知識を基礎としています。講義は教科書および配布資料に沿って進めていきますので、毎回、教科書と講義資料をご持参ください。また、該当箇所については、事前に予習のうえ、ご参加いただければと思います。
生命をミクロに理解する 【健康等】 (准教授 岡田直子)	この講義では、「人間のからだはどうやって体温や血圧を一定に保っているの?」「遺伝子って何をしているの?」といった素朴な疑問に、分子レベルから迫ります。自律神経やホルモンのように無意識に働いてくれる体内の仕組みが、どのように私たちのからだを支えているのかを学びます。また、DNAに記録された情報が、どのように読み取られ、からだをつくる材料であるタンパク質になるのかという遺伝の基本も、わかりやすく解説します。

症候と臨床検査 【健康等】 (教授 勝山 壮) (講師 千葉輝正)	身体の病的変化を病態生理学的に理解する為に、代表的な症候(心臓、血管、血液、呼吸器、消化器など)を臨床検査値に関する基本的知識を習得出来るように学習します。また、実際の症例課題に対し、臨床検査値と薬物療法に関するレポート作成も行います。
疾病と治療薬 【健康等】 (教授 井上裕子)	代表的な疾患の病気の成り立ちを理解し、その原因や進行メカニズムを学びます。各疾患に対しでどの薬物を使用するかについて学んでいきます。多数の薬物に遭遇しても知識を応用出来るような基盤を与えることを目的とし、疾病と治療薬では、2類および3類に分類される一般用医薬品薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨等について解説します。
免疫学 【健康等】 (教授 渡邊峰雄)	普段の生活環境において健康でいられるのは、我々を侵食する病原微生物に対する防御機構、すなわち免疫機能が適切に機能しているためです。健康を保つためには免疫の機能状態が適切に維持される必要があります、免疫が過度に亢進したり、抑制されたりすると様々な疾患が発生します。この講義では、免疫機能の基本的な知識から免疫機能関連疾患の発症機序に至るまで幅広い知識を学びます。
臨床栄養学 【生活・健康等】 (教授 高橋 徹)	臨床栄養学という言葉は、病気と栄養素との関係ばかりでなく、栄養管理、各疾病に関わる献立の作成・展開および調理までを含む大きな応用分野を示す言葉になります。本講義では、疾病と栄養素の関係のみに焦点を絞ります。自身の食事を振り返り、将来の健康を展望出来ることを目指します。日本人の食事摂取基準についても学習します。議論をすることで科学的思考力を身に付けられることを目指し、授業内に小テストを行います。
応用化粧品論 【生活・健康等】 (教授 白土真紀)	化粧品は人々の日常生活と深く関わっており、さまざまな目的で使用されています。その作用は緩やかであることが規定されており、医薬品とは本質的に異なります。しかし、化粧品を支える学問領域は、有機化学、物理化学、無機化学といった基礎化学にとどまらず、生化学、薬理学、皮膚科学、さらには心理学にまでおよび、非常に幅広く多岐にわたります。本講義では、化粧品に対する科学的理解を深めることを目的とし、各種化粧品の特徴や使用法を詳細に解説するとともに、化粧品に関連する具体的な研究開発事例についても紹介します。
ニュースポーツⅡ 【健康等】 (教授 縣 右門) (教授 村橋 毅)	ニュースポーツⅡはゴルフ実技となります。大学に近接するゴルフ練習場にて、フォームやスウィングなどを通して運動生理を実践で学びます。
スポーツマネジメント学 【生活・健康等】 (講師 松永修司)	本講義では、スポーツマネジメントの基本概念を学び、スポーツの社会的役割や国・自治体のプロモーションについて理解を深めます。健康増進や地域活性、経済効果などスポーツの多面的な価値を踏まえ、指導者として必要な知識と現場で活かせる実践力を養います。さらに、オリンピックやW杯など国際大会の商業化やメディア・スポンサーシップの役割、プロスポーツ経営についても学び、スポーツの持続的発展に貢献できる力を身につけます。

生体の構造と機能 【健康等】 (教授 前田智司)	人の体は多くの器官から構成され、それぞれの器官は固有の機能を発現する細胞とその集合体である組織から成り立っている。更に、人の体には、それぞれの器官や組織が互いに強調して生体の恒常性を維持する仕組み（ホメオスタシス）が備わっている。これらの人に体の構造とその機能を学ぶ事は、薬理学・薬物治療学・病態生理学等を理解する為の基本である。本講義では「人体を構成する器官」に引続き、各器官の構造・機能・調整の仕組みをマクロから分子細胞レベルにまで掘り下げて解説します。
有機化合物としての医薬品Ⅰ【健康等】 (准教授 高山博之)	薬剤師は医薬品の専門家です。病気の治療に使われる医薬品もほとんどの場合有機化合物である為、医薬品を創製したり適切に使用したりする為には、有機化学を深く理解しなくてはなりません。医薬品において立体異性体間の薬理学的および毒性学的作用に差異が問題になりました。有機化合物としての医薬品Ⅰでは立体化学について解説すると共に、アルカン・アルケン・アルキンの性質と反応について学びます。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

授業科目名	担当教員	授業期間	曜日	時限
戦略マネジメント・コントロール	伊藤 和憲	9月2日～12月9日	火・金	2

*授業科目、曜日・時限については、令和7年（2025年）6月時点での予定で、変更になる場合があります。

*この授業は週2回、全27回開講されます。

* 2時限の授業時間は 10:50 ～ 12:30 です。

*受講前の8月下旬頃にガイダンスを行います。

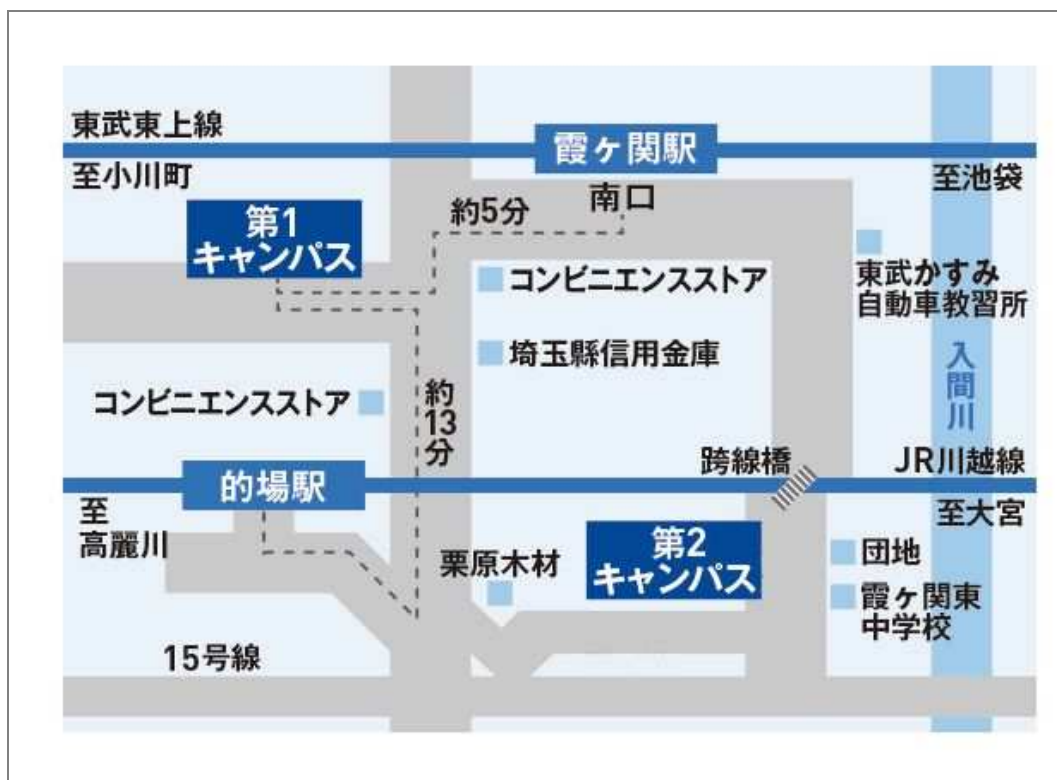
*定員は若干名です。

(2) キャンパス案内

＜川越第1キャンパス＞

東武東上線「霞ヶ関」駅下車南口 徒歩約5分 / JR川越線「の場」駅下車 徒歩約13分

※受講の際は公共交通機関（電車）をご利用ください。自動車での通学はできません。



2 受講料等

- (1) 受講料 10,000 円
 (2) その他 教材費は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年8月18日(月)(必着)
 ※ 事務局一斉休暇期間: 8月8日(金)～17日(日)

(2) 申込先

〒350-1197 埼玉県川越市の場北1-13-1
 東京国際大学 第1キャンパス 教務課 リカレント教育担当: 渡辺みゆき・鴛海(オシウミ)
 TEL 049-277-5955・5852 FAX 049-234-8319
 E-mail lckyoumu@tiu.ac.jp

(3) 申込方法

はがき、FAX、E-mail のいずれかにより、以下の事項①～⑦を漏れのないよう記入の上、お申し込みください。

- ①郵便番号、住所
- ②氏名、フリガナ
- ③生年月日、年齢(令和7年4月1日時点での年齢)
- ④性別
- ⑤電話番号
- ⑥メールアドレス(お持ちの方)
- ⑦受講希望科目名、担当教員名

(4) その他

受講許可科目、ガイダンス実施日時等は、締め切り後に郵送にてお知らせいたします。
 申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は、早めにご連絡ください。受講前に申し出いただいた場合は、受講料はいただきません。

4 各授業科目の概要及び担当教員

戦略マネジメント ・コントロール (伊藤 和憲教授)	本講座は、戦略策定と実行のマネジメント・システムを習得することにある。 授業では戦略策定と実行のマネジメント・システムであるバランスト・スコアカードについて、講義と受講生の演習活動を通じて理解を深めるとともに、受講者が実務で実践できるような授業を行う。
----------------------------------	---

とうほうおんがくだいがく

東邦音楽大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

実施時期	科目名	担当教員	曜日・時限		授業時間	定員
前期	民族音楽学 B	鈴木	水	4	14:20～15:50	若干名
	音楽心理学 B	徳富	木	3	12:40～14:10	若干名

※授業開始は9月10日(水)より開始となります。

※授業回数は原則として前期15回となります。

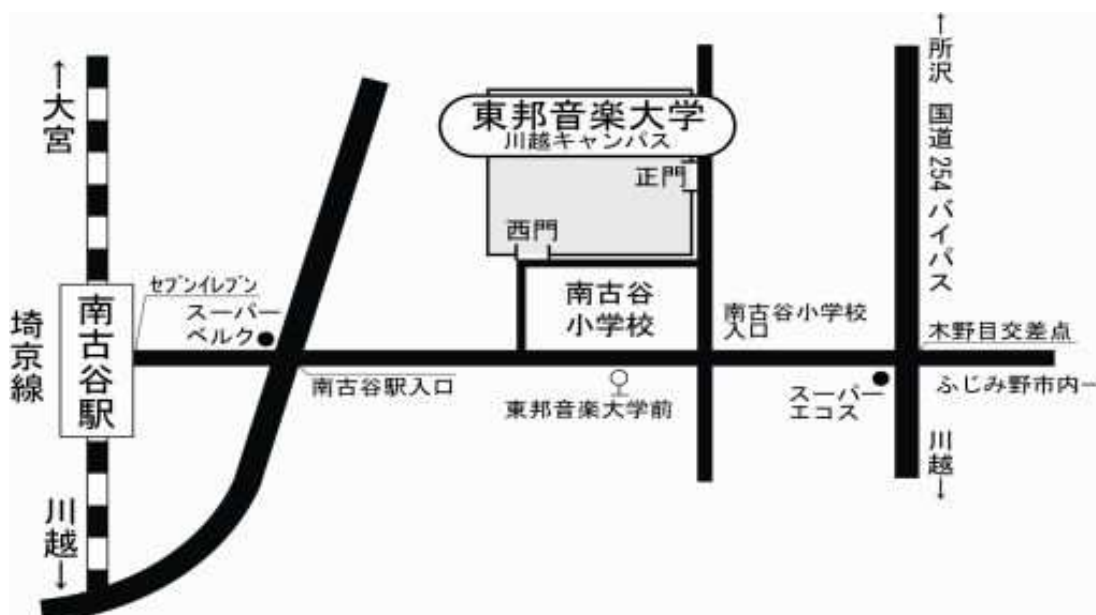
(2) 受講場所

東邦音楽大学川越キャンパス

埼玉県川越市今泉 84

JR 埼京線・川越線 南古谷駅下車徒歩約12分

※お車での通学も可能です(要事前許可申請)。



2 受講料等

(1) 受講料 前期科目：1科目 10,000円 (税込)

(2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

(授業開始後、教材の用意が必要であれば担当講師より通知予定)

3 修了証

各受講科目の授業の3分の2以上に出席し、所定のレポート課題を提出することにより、「修了証」を発行いたします。

4 受講の申込・お問い合わせ先

(1) 申込期限 令和7年8月20日(水)必着

(2) 申込先 〒350-0015

埼玉県川越市今泉 84

東邦音楽大学リカレント教育担当 宛

電 話：049-235-2157 (代) (受付時間 9:00-16:30)

E-mail：shomu-k@toho-music.ac.jp

(3) 申込方法

ハガキまたはE-mailにて、以下の事項をもれなく記入の上 お申し込み下さい。
表紙もしくは表題に【開放授業講座（リカレント教育）受講希望】
と明記して下さい。

- ① 氏名・フリガナ
- ② 郵便番号・住所
- ③ 生年月日（西暦）
- ④ 年齢（令和7年4月1日現在）
- ⑤ 性別
- ⑥ 電話番号（昼間連絡が付きやすい番号）
- ⑦ 受講希望科目（複数科目の受講も可）
- ⑧ 通学方法（スクールバス、自動車、その他）

(4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定いたします。

(5) お申し込みから受講開始までの流れ

1. ハガキまたはE-mailにて申込み
(E-mailの場合は表題に「リカレント教育受講希望」と記載して下さい)
2. 受付締切後、受講の可否及び諸連絡を担当者より郵送にて通知(8月下旬)
3. 9月10日(水)授業開始

※ご注意

- ・お申し込み後、都合により受講できなくなった場合は、お早めにご連絡下さい。
但し、一度納入された受講料は返金できませんので、予めご了承下さい。

5 各授業科目の概要及び担当講師

民族音楽学 B (鈴木良枝講師)	世界には様々な音楽があり、その価値観や特徴は実に多様です。音楽が生み出された人々の生活や社会、宗教などを通して文化の多様性について学ぶことは、音楽の本質を理解することにつながります。特に民族音楽学 B では、諸民族の音楽を考える上で重要なキーワード（音律、リズム、政治と音楽など）を各回ごとに設定し、世界各地の音楽の特色について学ぶことを目的とします。
音楽心理学 B (徳富政樹講師)	この講義では人と音楽の関係性について心理学の立場から考察していきます。例えば音楽の聴取によって人の行動や感情に変化を及ぼすことができるのか、演奏方法の違いによって音楽への評価は変わるのか、などといったテーマを取り上げます。また、自分の性格と音楽との関係性についても考えてもらい、自分自身について考えてもらうのもテーマとなっています。

※内容及び担当講師は都合により変更になる場合がございます。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

No.	科目名	曜日	時限 (注1)	受講期間	受講 回数	授業形式	定員
①	生命倫理の諸問題③	月	2 限	10/6～11/24	8	オンライン (オンデマンド)	若干名
②	総合文化研究A日本	月	2 限	10/6～11/24	8	対面	5 名程度
③	文化人類学	月	5 限	10/6～1/26	15	対面	5 名程度
④	哲学	月	5 限	10/6～1/26	15	対面	若干名
⑤	保育内容「言葉」の 指導法	火	5 限	10/7～1/27	15	対面	若干名
⑥	免疫学	水	2 限	10/8～11/19	7	対面	若干名
⑦	保育内容「人間関係」 の指導法	水	4 限	10/8～1/28	15	対面	若干名
⑧	幼児と健康	木	1 限	10/9～1/29	15	対面	若干名
⑨	ソーシャルワークの 理論と方法Ⅰ	金	4 限	10/3～1/30	15	対面	若干名
⑩	ソーシャルワークの 理論と方法Ⅱ	金	5 限	10/3～1/23	14	対面 /オンライン	対面・オンライン共に 若干名

(注1) 時限・授業時間

- 1 限： 9：00～10：30
- 2 限：10：40～12：10
- 3 限：13：00～14：30
- 4 限：14：40～16：10
- 5 限：16：20～17：50

※科目、曜日、授業時間等は都合により変更になる可能性があります。

※すべての科目にてインターネット授業支援システム「Webclass」(注2)を利用し、授業に関する連絡(資料配布・課題のお知らせ・レポート提出等)を行う場合があります。

※授業形式は科目ごとに異なりますので、ご注意ください。

①生命倫理の諸問題③は、オンライン授業(オンデマンド受講)となります。講義日にあらかじめ収録した動画を各自で視聴します。講義日までに授業動画の視聴情報(URL等)をWebclass上に掲載しますので、その情報をもとに受講していただきます。

⑩ソーシャルワークの理論と方法Ⅱは、対面授業とオンライン授業の選択が可能です。

②～⑨の科目は、対面授業のみとなります。なお、対面授業においても、オンライン授業（オンデマンド受講を含む）となることもあります。

※⑧幼児と健康について

- ・運動実技の回があり、その際は、体育館シューズと動きやすい服装（ジャージ）が必要になります。
- ・パソコンやスマートフォン等を使う回があります。その際は、ご持参してください。

※⑨ソーシャルワークの理論と方法Ⅰについて

- ・授業中に毎回「Webclass」を使用します。
- ・出席確認、授業中の課題への解答、資料閲覧に必要ですのでノートパソコンやタブレットなどインターネットにアクセスできるものをご持参してください。

※ノートパソコンやタブレットなどの基本的な操作についてのお問い合わせはお受けできません。

※受講者の成績評価はいたしませんので、学期末試験はありません。

（注2）WebClass とは、本学で導入しているeラーニングシステム（学習支援システム）です。授業の教材・資料の閲覧やアンケート・レポート提出等に利用します。

（2）場所

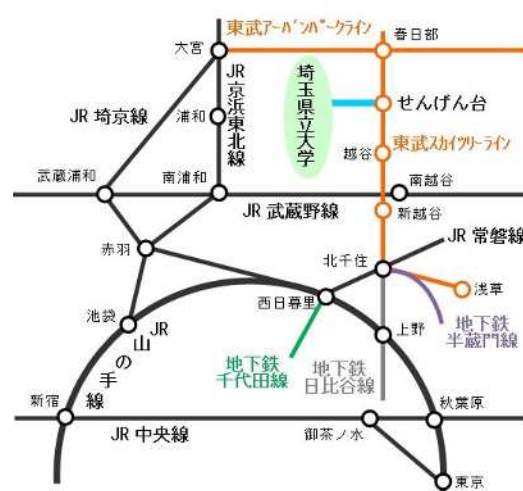
埼玉県立大学 〒343-8540 越谷市三野宮 820 番地

東武スカイツリーライン「せんげん台駅」下車

西口よりバス：5分 徒歩：約20分

※自家用車、バイク等による通学は許可できません。

※公共交通機関、自転車等をご利用ください。



2 受講料等

(1) 受講料

- ・各科目ごとに授業料が必要となります。
※受講回数により授業料が異なります。
8 回相当：6,000 円、15 回相当：10,000 円
- ・受講料は受講決定後に振込となります。
※振込手数料は別途かかります。

No.	科目名	受講料	備考 (受講回数)
①	生命倫理の諸問題③	6,000 円	8
②	総合文化研究A日本	6,000 円	8
③	文化人類学	10,000 円	15
④	哲学	10,000 円	15
⑤	保育内容「言葉」の指導法	10,000 円	15
⑥	免疫学	6,000 円	7
⑦	保育内容「人間関係」の指導法	10,000 円	15
⑧	幼児と健康	10,000 円	15
⑨	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	10,000 円	15
⑩	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	10,000 円	14

(2) その他

教科書等の教材を自己負担によりご用意いただく場合があります。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年8月31日(日)

(2) 申込方法

次の応募フォーム、二次元コードよりお申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/b0474261296004>



お申込み完了後（送信後）に受付完了の自動返信メールが届きます。
応募フォーム以外（電話・FAX 等）のお申込みは受け付けておりません。
受付完了メールが届かない、応募についての問い合わせ等ございましたら、
お問合せ先までご連絡ください。

(3) お問合せ先

埼玉県立大学 地域連携センター

E-Mail edec@spu.ac.jp

TEL 048-973-4114

(4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
受講の可否、受講決定科目は、申込期限以降（9月中旬までに）、申込者全員にお知らせします。

(5) その他

- 申し込み後、都合により受講できなくなった場合は9月30日（火）までにご連絡ください。ただし、一旦納入された受講料につきましては、原則としてお返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 中止または受講方法の変更により受講できなくなった場合に限り受講料をお返しいたします。
- 天候や社会情勢等により、受講方法が変更となる場合があります。変更が生じた場合、受講者へ連絡いたします。
対面授業を予定している科目でも、Zoom等のオンライン授業（オンデマンド受講を含む）となる可能性もございます。
オンライン授業（オンデマンド受講を含む）の場合、大学ではなくご自宅等において受講いただくことになります。パソコン、タブレット等のインターネットに接続できる端末・インターネット通信環境がない場合、受講ができませんのでご注意ください。
ご自宅等で受講いただく場合の通信料は、受講者本人のご負担となります。
- 本学では、病院等への実習を控えた学生もいることから、状況により感染防止対策等をお願いすることがございます。ご協力お願いいたします。

4 各授業科目の概要および、ねらい

生命倫理の諸問題③ (高村 夏輝 准教授)	【概要】 生命倫理学という分野で取り上げられている基本的な問題と、それに対する取り組み方を概説する。 現代社会で自明視される見解や価値観を前提とすると、生命倫理学では大きな問題が生じうることを解説する。 この講義はあらかじめ収録した動画を各自で視聴するオンデマンド授業で行う。 【ねらい】 医療・看護・介護等の現場で生じる倫理問題について、筋道を立てて考える能力を身につける。個々人の生命の問題を当人の個人的な問題として捉えるのではなく、歴史的・社会的文脈の中で捉え、そこにある道徳的問題に対する感受性を持てるようになることを目指す。
総合文化研究A日本 (浅川 泰宏 教授)	【概要】 四国をめぐる巡礼「四国遍路」が織り上げてきた地域の文化を具体的な資料やデータを元に考察します。信仰と伝説、病や貧困、巡礼者援助などに焦点をあてながら、近世から現代の時間軸に沿って、日本の地域社会の姿を掘り下げます。 対面授業が原則ですが、一部オンデマンド授業で実施します。 【ねらい】 ①文化や歴史を通じて、「人間」に興味と敬意を持つ姿勢を養うこと。 ②ディスカッションなどの主体的な学修活動を実施できること。 ③各自の学びを活用して総合的な知を生み出すこと。

文化人類学 (浅川 泰宏 教授)	【概要】 文化人類学は文化(culture)という観点から人間と社会を考える学問です。文化人類学の基本的な考え方を学び、映像資料等も活用した様々な「フィールドワーク」を通して現代社会の多様な「文化」を体験します。 対面授業が原則ですが、一部オンデマンド授業で実施します。 【ねらい】 ①様々な人の営みに触れることで、「人間」に興味と敬意を持つ姿勢を養うこと。 ②学修を通して、自分のアイデアや考えを掘り起こし、形にする能力を養うこと。 ③フィールド資料を通して、文化の多様性とダイナミズムを体験し、様々な価値が共生する社会像を探求する能力を養うこと。
哲学 (高村 夏輝 准教授)	【概要】 心とは何か、心と身体との関係をどう理解するべきかに関する哲学的理論を説明する。人工知能とは心についてどのような考え方を前提しているのかを明らかにする。意識という現象に関わる諸問題を解説する。 【ねらい】 ①近代科学の世界観が説得力を強めるごとに、「心」を捉えることの難しさがより明らかになってきた。その難しさがどこにあるのか、どのように心を理解することが科学的世界観と矛盾しないのかを理解すること。 ②心の中でも、意識という側面は特に科学的に説明が困難だとされている。それはなぜなのか、意識をどのようにとらえればよいのかを理解すること。
保育内容「言葉」の 指導法 (森田 満理子 准教授)	【概要】 乳幼児の言葉の発達を踏まえ、幼児期の言葉を豊かに育む保育のあり方について、学童期との連続性を踏まえて学ぶ。 保育の構想のための教材理解や保育実践事例考察、模擬保育等の実践を通して学ぶ。 【ねらい】 幼児の言葉の発達に係る現状や課題を捉え、幼稚園教育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深める。 ①領域「言葉」のねらい及び内容について、他領域との関連および小学校以降の教育との連続性を踏まえて説明できる。 ②主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な指導場面を想定し、幼児理解に基づいて保育を構想する方法を身に付ける。
免疫学 (伊藤 さやか 准教授)	【概要】 免疫は人体の防御機構を司る不可欠な生体システムであり、臨床検査では様々な物質の測定手段に応用されている重要な分野である。免疫システムの基礎についてイラストや図を多用しながら解説することで、具体的なイメージをもって免疫学を理解してもらうことを目指す。テーマごとに小テストを実施し、理解度の確認を行う。 【ねらい】 免疫学の基礎を具体的なイメージをもって理解することにより、今後の専門科目で必要となる論理的かつ総合的な解釈力を身に着ける礎を築く。

保育内容「人間関係」の 指導法 (森田 満理子 准教授)	【概要】 社会の中で主体として生きていくうえで基本となる、自立、人とのかかわる意欲と人間関係を調整する力、集団生活をすすめる力等を育む保育について、事例考察・指導計画と実践を通して学ぶ。 【ねらい】 ①領域「人間関係」のねらい及び内容について、他領域との関連および小学校以降の教育との連続性を踏まえて説明できる。 ②主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえ、乳幼児理解と丁寧な教材研究や環境構成に基づいて保育を構想する方法を理解し、説明できる。
幼児と健康 (五味 葉子 助教)	【概要】 乳幼児期は、子どもが生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要時期である。乳幼児の基本的な生活習慣、乳幼児の運動を中心に、乳幼児の健康理論と健康づくり実践について学んでいく。グループワークや演習を中心に進みます。 【ねらい】 保育内容の領域「健康」は、子どもの健康な体と心を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うという観点でまとめている。乳幼児の基本的な生活習慣や運動のあそびを中心に、子どもの心身の「健康」について学び、自分の言葉で表現することを目指す。
ソーシャルワークの 理論と方法Ⅰ (保科 寧子 准教授)	【概要】 個別援助（ケースワーク）を中心としたソーシャルワークのプロセスや手法・技法について学び、さまざまな社会の課題にソーシャルワーカーが関連職種とともに対応する具体例を理解します。具体的には支援を必要とする人との援助関係の形成や多角的にクライアントを捉えニーズを理解するための知識と技術、ソーシャルワークの過程、スーパービジョン、コンサルテーションなどの概要を学びます。特に支援を必要とする人のニーズを明らかにするためのアセスメントや支援計画については、事例を用いて実践的に理解を深めます。 【ねらい】 ソーシャルワークの理念・価値・倫理を念頭に置き、連携やチームアプローチを意識した個別援助におけるソーシャルワーク実践の方法論について基礎的な知識を身につけます。
ソーシャルワークの 理論と方法Ⅱ (大岡 華子 准教授)	【概要】 社会福祉士・精神保健福祉士に共通するソーシャルワーク実践の基盤となるソーシャルワーク理論、ソーシャルワークを具体的に展開するために不可欠な実践モデルとアプローチ、実践を豊かに展開するためのグループワーク、コミュニティワーク、ソーシャルアドミニストレーション、ソーシャルアクションについて講義をする。この科目の内容を知識として定着させるとともに演習科目や実習指導、ソーシャルワーク実習を通じ、技術として身につけていく必要がある。 【ねらい】 ①グループを活用した支援を理解し、実践できるようになる。 ②コミュニティワークを理解し、実践できるようになる。 ③ソーシャルアドミニストレーション・ソーシャルアクションを理解し、実践できるようになる。 ④ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチを理解し、実践できるようになる。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目	曜日・時限	授業時間	定員
North American Studies I	月・1	9:10～10:40	5名程度
地理学	月・3	13:10～14:40	5名程度
ボランティア論 N	月・3	13:10～14:40	5名程度
演劇論 I	金・1	9:10～10:40	5名程度
文学	金・1	9:10～10:40	5名程度
障害児教育思想史	金・2	10:50～12:20	5名程度

※ North American Studies I 授業は基本的に英語で行い、英語で課題があります。

- 授業の曜日・時限等は現時点での予定につき変更になる場合があります。ご了承ください。
- 授業は、9月12日（金）から開始し、15回の予定です。祝日授業日もあります。
- 全ての授業で、インターネット授業支援システム manaba を使用します。課題への解答、資料閲覧等に使用するのでインターネットにアクセスできる端末と通信環境が必要です。本学からの機材貸与はございません。自宅等で学習する場合の通信料は、受講者本人の負担となります。
- 個人端末などの接続や操作方法等のお問い合わせは承っておりません。

(2) 場所

文教大学 越谷キャンパス 埼玉県越谷市南荻島 3337

※ 東武スカイツリーライン 北越谷駅西口下車 徒歩約10分

※ 公共交通機関の学割対象にはなりません。

※ 車・バイクでの通学はできません。 自転車の駐輪は所定の手続きが必要です。



2 受講料等

- (1) 受講料 1 科目（半期）につき 10,000 円
- (2) 教科書等の教材は別途各自でご用意いただく場合があります。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和 7 年 8 月 18 日（月）13：00 厳守

- (2) 申込み先

文教大学 地域連携センター https://shougai.bunkyo.ac.jp/senior_academy/index.html

- (3) 申込み方法

申込フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/xoiPCSoHCobS6C2bA>

※ 上記以外での受講申込は受付けておりません。



- (4) 選抜方法

定員を超える申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。選抜結果は、申込者全員に郵送します（8 月 20 日（水）発送予定）。8 月 26 日（火）までに届かない場合はご連絡ください。

- (5) 受講手続

受講可の場合、選抜結果送付時に振込用紙（コンビニエンスストア）と手続書類を同封します。手続書類には 4×3cm の証明写真が必要です。内容を確認し、期日までに手続きをしてください。

申込みをキャンセルする場合は 8 月 29 日（金）までにご連絡ください。その場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料は返金することができませんので、あらかじめご了承ください。

- (6) その他

① 9 月 20 日（土）時点で正規学生の履修者がいない科目は非開講となり、以降の授業は行われません。その場合、受講料は返金します。

② 9 月 11 日（木） 午後に受講オリエンテーションを予定しております。授業の出席方法や学内施設の利用について説明しますのでご予約ください。詳細は受講確定後にご案内します。

4 各授業科目の概要及び担当教員

現時点での予定につき、担当教員や科目名称、一部講義内容が変更になることがあります。

North American Studies I (ラメイ・アレック)	Students will study topics in American and Canadian history, politics, economics and business. North American viewpoints on gender issues, human rights, health care, and other social issues will be compared with Japanese and other Asian views on these issues. アメリカとカナダの歴史、政治、経済、ビジネスについて学ぶ。ジェンダー役割、人権問題、健康管理などの社会問題に関して、北アメリカの視点と日本やアジア諸国の視点を比較する。 This is a lecture class. Students are expected to take notes and participate in open discussion.
地理学 (三木 一彦)	地理学は、歴史軸を考慮に入れることで、ぐっと奥行きを広げることができる。本授業では、いくつかのトピックを糸口としながら、日本列島諸地域の歴史的展開について考えていきたい。
ボランティア論 N (二宮 雅也)	現代社会におけるボランティアは、災害ボランティアや福祉ボランティアといった社会的課題の克服をサポートする活動から、スポーツや音楽などの各種イベントを支えるボランティア、地域再生といった「まちづくり」を支えるボランティアまで多岐に及んでいる。この授業では、さまざまな場面でのボランティア活動事例を教材としながら、現代社会における活動の意味を考える。その動機や活動の本質はどこに見いだせるのだろうか。授業では、理論的側面からのアプローチだけではなく、実際に活動を体験・実習しながら、ボランティア活動の本質に迫ることを目的としている。そうした経験を踏まえて、活動する主体（送り手）と客体（受けて）のそれぞれの立場を考えながらボランティアを考察する。
文学 (大島 文志)	文学の授業では、近現代日本の代表的な文学作品について文学史・作品の読みの両方からアプローチしていく。 近現代日本文学においては、写実主義・自然主義・プロレタリア文学など、様々な主義主張が存在した。 まず、この様々な主義主張を理解し、一つの作品を読むだけでは知り得ることの出来ない近代日本文学史と、その中で「私」、というものがどのように描かれたのか、その描かれ方を学んでいく。 次に、グループ討論・ディベートなども行いながら、作品に描かれる「私」について考えてもらう。 作品の読みに関しては多様性を重視し、高校までの教科書教材としての読みとの比較なども行いたい。 最後に、現代の文学における「私」の描かれ方を考えたい。
演劇論 I (青木 祐子)	能とお伽草子の関係を紐解くことは、能の成立と受容を考える上で重要な課題である。能とお伽草子の関係に注目し、能が演劇としてどのような効果を発揮しているかについて考察を深めながら、能および演劇全般に対する分析的理解に必要な視野と能力を身につけることを目標とする。
障害児教育思想史 (佐々木 順二)	障害のある人々の自立と社会参加のための教育的・社会的条件の整備にかかわる思想を学修する。受講者は、障害児教育を支える思想に関するテーマを一つ設定し、文献調査に基づくレポートを作成し、授業の中での発表と意見交換を通じて、現代の障害児教育と思想的基盤とを関連づけて学修をする。

さいたまとうほうたんきだいがく
埼玉東萌短期大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	曜日	授業時間	定員
心理学	浅野 路子	火	5 限 (16:30~18:00)	若干名
文学入門	原田 桂	金	5 限 (16:30~18:00)	若干名

(2) 場所

埼玉東萌短期大学

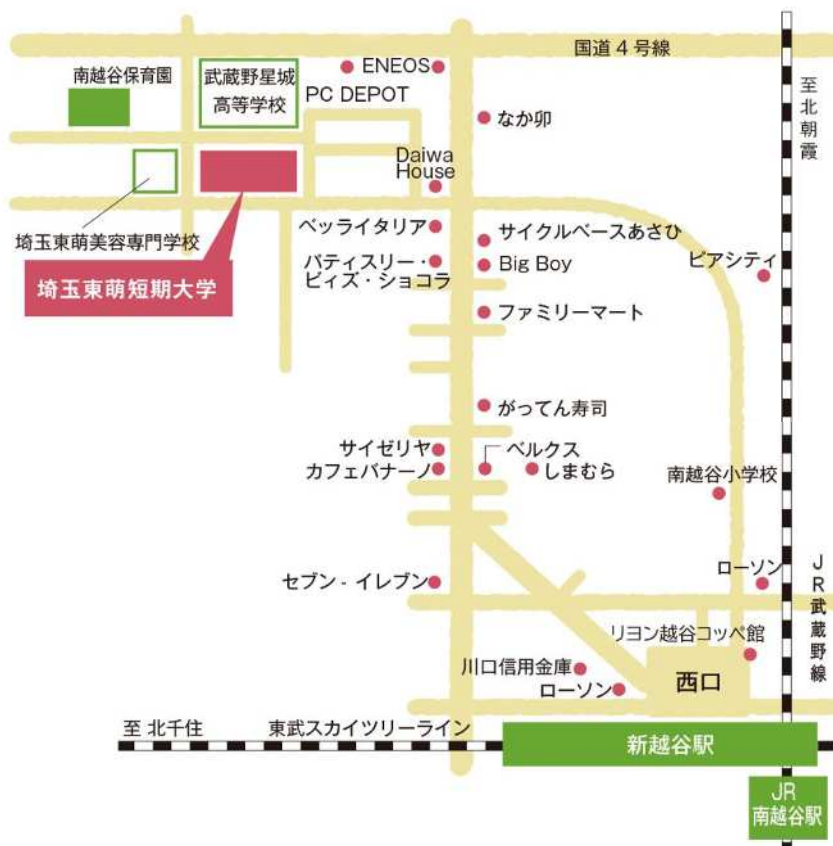
〒343-0857 埼玉県越谷市新越谷 2 丁目 21 番地 1

TEL:048-987-2345 (代表)

FAX:048-989-4550

<https://www.saitamatoho.ac.jp/access/>

東武スカイツリーライン「新越谷」駅・JR 武蔵野線「南越谷」駅より徒歩 15 分



※駐車場のご用意が出来ませんので公共の交通機関での来学をお願いいたします。
(駐輪場はございます)

2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期) 10,000円
- (2) その他 教科書、教材費等が必要な場合は自己負担でお願いします。
受講料等の納入方法は、受講決定の方にお知らせします。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年8月29日(金)(郵送の場合消印有効)
- (2) 申込先 埼玉東萌短期大学 学務課
E-mail:gakumu@saitamatoho.ac.jp
〒343-0857 埼玉県越谷市新越谷2丁目21番地1
FAX:048-989-4550
- (3) 申込方法
E-mail、ハガキ、FAXのいずれかにより、下記①～⑥を記入のうえお申込みください。
①住所
②氏名・ふりがな
③年齢(令和7年4月1日現在)
④電話番号
⑤メールアドレス
⑥受講希望科目
- (4) 選抜方法
定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
(受講の可否は申込者全員にお知らせします。)
なお、受講人数により開講しない場合がございます。

4 授業科目の概要及び担当教員

心理学 (浅野 路子講師)	心理学の基礎を学ぶことで、心理学理論による人の理解とその技法の基礎、人の成長・発達と心理との関係、日常生活と心の健康との関係、心理的支援の方法と実際などについて理解することを目的とします。今後、さまざまな専門を学ぶ上での土台となる教養として、また、人間の理解と援助に貢献できる人間となるための学びの入り口となる、「科学的な人間理解」のための知識と考えを身につけることを目指します。
文学入門 (原田 桂講師)	人には誰でも子どもの時代がある。人間形成にとって、特に子ども時代において「何を見て、どのように感じるのか」というプロセスは非常に重要であるだろう。文学というものは、そのプロセスを体現させてくれるものであり、自己の内面を見つめるきっかけともなる。本講義では、幼児や児童が親しむ昔話や説話の変遷を通じて、子どもを取り巻く時代や社会の変遷にも目を向け、文学作品に描かれる様々な人間の物語を読み解いていく。またアニメーションや映画など、文学に隣接するジャンルも含め、子どもはもちろんのこと、人間とは何かを考えていきたい。

こくさいがくいんさいたまたんきだいがく
国際学院埼玉短期大学

1 講座名・定員など

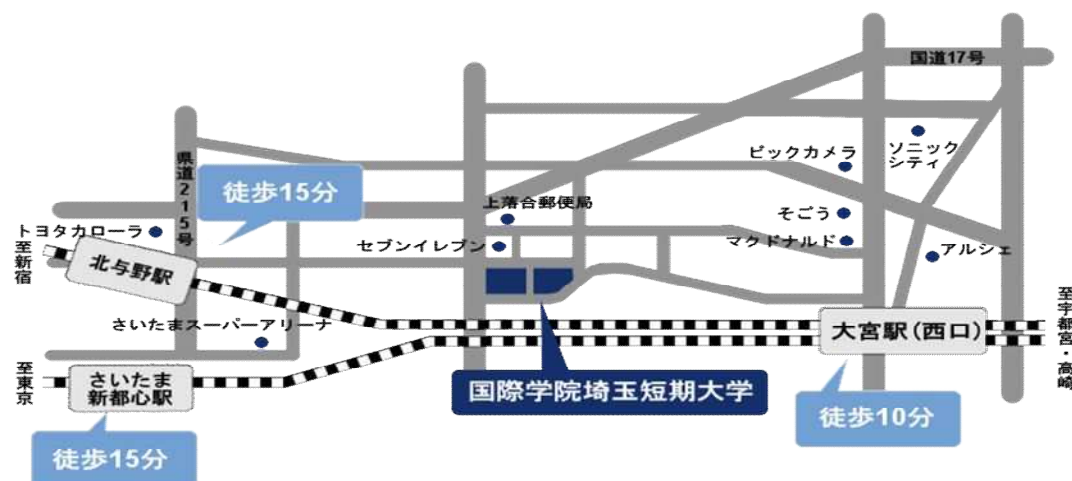
(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
食品学各論	後期	水	4	14:40～16:10	若干名
言葉領域指導法	後期	木	3	13:00～14:30	若干名
特別支援保育Ⅰ	後期	火	1	9:00～10:30	若干名

- ※ 授業の曜日・時限等は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。
 - ※ 授業は各科目とも対面授業 15 回の予定です。
 - ※ 「食品学各論」の授業開始日は、9 月 24 日（水）の予定です。
 - ※ 「言葉領域指導法」の授業開始日は、9 月 25 日（木）の予定です。
 - ※ 「特別支援保育Ⅰ」の授業開始日は、9 月 30 日（火）の予定です。
 - ※ 各授業初日にオリエンテーションを実施いたします。
- （詳細につきましては、受講決定のご案内通知でお知らせいたします。）

(2) 場所

国際学院埼玉短期大学 大宮キャンパス



※ JR大宮駅徒歩 10 分 JRさいたま新都心駅徒歩 15 分 JR北与野駅徒歩 15 分

2 受講料等

(1) 受講料 10,000 円（授業初日に徴収いたします。）

(2) テキスト

- ・「食品学各論」……………必要に応じて資料を配布します。
- ・「言葉領域指導法」……………必要に応じて資料を配布します。
- ・「特別支援保育Ⅰ」……………必要に応じて資料を配布します。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年8月22日(金) (消印有効)

(2) 申込先

〒330-8548 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町2-5
国際学院埼玉短期大学 地域連携センター
電話: 048-641-7468
FAX: 048-641-7432

(3) 申込方法

「官製はがき」により、以下の事項をもれなくご記入の上、お申し込みください。

- ① 郵便番号、住所
ふりがな
- ② 氏名
- ③ 年齢 (令和7年4月1日現在)、性別
- ④ 電話番号
- ⑤ メールアドレス
- ⑥ 受講希望科目名

(4) 選抜方法

受講の可否は申込者全員にお知らせします。多数のお申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定いたします。

4 授業科目の概要及び担当教員

食品学各論 (甲山 恵美 講師)	この授業は、食品の特性や構成している成分、機能について理解を深める。植物性食品から動物性食品まで、網羅する。各種食品の特徴を知ること、調理や食生活に活用できるようにする。
言葉領域指導法 (中村 敏男 教授)	幼い子どもの言葉の成長を支えるための保育のあり方を学ぶ。手袋人形や絵本など様々な題材の製作や、それらを使った発表学修を通して指導技術を身に付ける。授業では、グループワークや発表学修を通して主体的な学びを深める。また、毎時間のはじめに絵本の読み聞かせ、手遊び等の発表学修を行い、互いに感想を交流して深め合う。
特別支援保育Ⅰ (東 敦子 准教授)	発達障害や貧困、海外ルーツの家庭など、様々な事情により支援が必要な子どもに対し、多様性を受け止めたかかわり方や配慮の方法、家庭および地域の関係者との連携の取り方などについて学びます。ことば以外にサインやシンボルなどの手段を用いたコミュニケーション指導法「マカトン法」についても授業の中でとりあげます。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	曜日	授業時間	定員
開発・慣習と行動経済学	岡部 正義	木	18:00~19:30	5人

※後期（9月～2月）の授業期間で、授業は15回の予定です。

(2) 場所

埼玉大学経済学部 さいたま市桜区下大久保255

事務担当窓口：経済学部係【TEL：048-858-3286、Mail：eco-sodan@gr.saitama-u.ac.jp】



2 受講料等

(1) 受講料 1科目9,800円（振込手数料別途）

(2) その他 教科書等の教材を自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年8月31日(日)

(2) 申込先・方法

下記の URL もしくは QR コードから申込フォームへアクセスの上、お申込みください。

ご不明点や質問等ございましたら、前ページに記載の事務担当窓口までお問合せください。

<https://forms.office.com/r/w7ZhWQvMvE>



(3) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
(受講の可否は申込者全員にお知らせします。)

(4) その他

お申込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。
ただし、一旦納入された受講料につきましては、原則としてお返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。

オンラインで受講いただく必要が生じた場合、大学ではなくご自宅等においてパソコン等の端末を利用し授業を受けていただく形となります。そのため、パソコンやタブレット等、インターネットに接続できる端末・インターネット通信環境がない場合は、受講ができなくなる場合がございます。この点につきましてもご確認いただいた上でお申込みください。

4 授業科目の概要及び担当教員

開発・慣習と 行動経済学 (岡部 正義)	開発経済学は、かつては工業化論に代表されるように「市場」的アプローチに基づいて開発途上国経済を分析してきた。その意味で、制度・規範・慣行といった「非市場」的現象は、現地社会にとって重要な変数であるにもかかわらず、以前は経済学で正面から取り上げられるよりも社会学や人類学など隣接社会科学諸学に委ねられてきたと言ってよいだろう。しかし、今日では、ミクロ経済学における不完全競争市場理論やゲーム理論の進展とともに、近年その状況は様変わりし、非市場的なメカニズムが開発途上国の経済発展にとって重要な役割を担っているという認識が開発経済学においても急速に高まっている。 そこで、本科目は一定水準以上の専門性を持つ科目と位置づけ、このような開発経済学の近年の進展をふまえて開発途上国において観察される様々な行動規範や地域共同体に由来する制度を「慣習」として捉え、開発過程において慣習が果たす役割を経済学的に論じた諸研究を取り上げる。特に、経済学における行動経済学的分析の近年の高まりを受け、開発・慣習を数理的・行動経済学的に探究した諸文献（アジアの農村を中心とする）を指定し、主に受講生が参加型形式で個人またはグループ報告・発表する輪読を通じて、学生間のディスカッションを深め、所記の分析的思考を養う。
-------------------------------------	---

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科 目 名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
睡眠文化論	後期	金曜	4 限	90 分	30 名程度

※ 4 限は 14:40～16:10 です。

※ 授業は以下の 15 回を予定しています。

9/26、10/3、10/10、10/17、10/24、10/31、11/7、11/14、11/21、11/28、
12/5、12/12、12/19、1/9、1/16

(2) 場所

浦和大学キャンパス

J R 武蔵野線東川口駅、埼玉高速鉄道線浦和美園駅からスクールバス
(無料)

J R 浦和駅東口2番のりば、国際興業バス 美 01「浦和美園駅西口」

「浦和大学」下車
(乗車時間 20 分程度：有料 360 円)



2 受講料等

- (1) 受講料 1 科目 (半期) につき 10,000 円 (初講日に集金)。
- (2) その他 事前に準備するものは特にありません。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和 7 年 8 月 22 日 (金) (必着)

- (2) 申込先

〒336-0974 埼玉県さいたま市緑区大崎 3 5 5 1

浦和大学 教務課

メール: kyoumu@urawa.ac.jp

電 話: 0 4 8 - 8 7 8 - 3 7 4 2

- (3) 申込方法

以下の事項をメールに記載の上、件名を「2025 開放授業申込」として上記アドレスに送付ください。(メールがご利用できない方は、官製はがきで申し込みください。)

- (1) 住所
- (2) 氏名
- (3) 氏名ふりがな
- (4) 年齢 (令和 7 年 4 月 1 日現在)
- (5) 電話番号
- (6) メールアドレス

- (4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合には、抽選により受講者を決定いたします。(受講の可否は申込者全員にメール等でお知らせします。)

- (5) その他

申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。初回前に受講ができなくなった場合のみ、受講料はいただきません。

4 授業科目の概要 (2025 シラバスより抜粋)

睡眠文化論 (豊田 由貴夫 教授)	睡眠は人間の基本的欲求の 1 つとされ、健康のためにきわめて重要であるが、そのしくみは十分理解されているわけではない。この授業では、最新の睡眠研究をもとにして、睡眠に関する基本的な知識・概念を身につけ、健康な生活を送るための指針となることを目標の 1 つとする。さらに睡眠の文化的要因の重要性を考えてもらうことを、この授業のもう 1 つの目的とする。
--	--

注) 募集の対象は、対面授業とオンライン授業のどちらの授業形態であっても受講が可能で、E-mail(電子メール)の送受信を含みご自身でパソコン操作を行える方のみです。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当	曜日	時限	授業時間	定員
近世の日本史Ⅱ	神崎 直美	月	1	1時限 9:15～11:00 2時限 11:10～12:55 3時限 13:45～15:30 4時限 15:40～17:25 5時限 17:35～19:20 * 時間帯は変更される場合があります。 * ※印の付いた科目はどちらか一方の時限を選んでください。	若干名
公立文化施設論	土屋 正臣	金	2		
世界の文学B	大橋 稔	水	3		
経営分析Ⅱ	山田 優子	木	3		
エネルギー科学と社会	ティティレイ	木	2		
生活と化学物質Ⅱ	八木 創	木	1		
※ 漢方薬	北村 雅史	火	1		
	横川 貴美 玄 美燕	火	2		
化粧品・香粧品学A	高木 豊	月	3		
ハーブ論	須永 克佳 菊地 秀与	火	3		
接客英語Ⅱ(CR 英語)	三國 信夫	水	2		

ホームページ上で最新の情報を確認後、お申込み下さい。

○秋学期の授業は 9月 29日(月) から始まります。

○受講人数により開講しない場合があります。

○曜日が異なる科目は複数選択可ですが、曜日が同じ科目は複数選択できません。

○お申込み後の科目変更はできません。

○社会情勢及び、授業担当者の都合によりオンライン授業(オンデマンド)に変更する可能性があります。そのため、対面授業とオンライン授業のどちらの授業形態の場合でも受講可能な方を募集します。

- オンライン授業（オンデマンド）の場合はご自宅等での受講となり、インターネット通信環境・インターネットに接続可能な端末等が必要です。大学の端末やシステム等のご利用いただけません。通信料などは受講者負担です。端末の接続や操作方法等のお問い合わせはお受けできません。
- 授業によっては、受講時にご自身の端末を持参して頂く場合があります。
- 受講に関する連絡や講義資料の配布はE-mail(電子メール)が基本です。資料を受信できるE-mail アドレスでお申込みください。
- 成績評価は行いません。学期末試験の受験はできません。但し授業で小テストの実施がある時は、成績評価に関わらず受けていただく場合があります。

(2) 場 所

城西大学／城西短期大学（城西ベースカレッジ）

東武越生線川角駅から徒歩約 10 分。

※公共交通機関をご利用ください。

○大学シャトルバスのご利用はできません。

○大学駐車場のご利用はできません。大学周辺駐車場のご紹介は承れません。



2 受講料等

(1) 受講料 1 科目（半期）につき 10,000 円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意していただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 2025年 8月 21日（木）

(2) 申込先

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

電 話 049-271-7795

E-mail extension@josai.ac.jp

(3) 申込方法

下記の Forms(受講申込フォーム) よりお申込みください。送信後に受付の自動返信メールが届きます。

電話・その他のお申込みは受け付けておりません。

「大学開放授業講座 城西大学 2025 年度秋学期受講申込フォーム」



URL <https://forms.office.com/r/CyJzCY75Nz>

(4) 選抜方法

定員を超える申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。

※受講の可否および受講決定科目は、申込締切日以降に申込者全員へお知らせします。

(5) 受講手続

受講可能な方へ受講手続書類を送付いたします。期日までに書類の返送と受講料納入等の受講手続をお願いします。

お申し込みから受講開始までの期間が短くなりますのでご了承ください。

(6) その他

○一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができません。

但し、受講人数により開講されない場合のみ受講料を返金いたします。

○次に該当する行為があった場合、申し込み手続き中もしくは講座受講中であっても、受講をお断りする場合があります。この場合も、受講料をお返しすることはできません。

a. 本学の授業実施方法、開講内容、申し込み手続き方法等に対してご賛同いただけない場合

b. 講義の進行に影響が出る行為があった場合

c. 本学学生や本学学生の保護者からのクレーム等を受けるような行為があった場合

以上の点につきましても、予めご了承ください。お申し込みくださいますようお願いいたします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

近世の日本史Ⅱ (神崎 直美) [秋学期]	「大名夫人の紀行文を読む」 日向国延岡藩藩主夫人内藤充真院(幕府の大老・井伊直弼の姉)が執筆した幕末の紀行文「五十三次ねむりの合の手」を紹介し、その中から見所を神崎が作成した現代語訳と解説と共に読みます。講義ですがグループワークも実施します。秀逸な文章力を有した充真院の紀行文を読み味わいながら、日本史学と日本文学を融合した授業をいたします。 教科書：テキスト データを随時配布します。 参考文献 神崎直美著『幕末大名夫人の知的好奇心―日向国延岡藩内藤充真院―』岩田書院、2016年3月刊行
世界の文学B (大橋 稔) [秋学期]	アメリカのマイノリティ文学を中心に講義を行います。 アメリカ合衆国には、歴史的に人種差別、性差別、経済的差別などさまざまな差別により周縁へ追いやられた人々がいます。そのような彼／彼女たちの視点から社会を見直すことを、彼／彼女たちが求めた社会の在り方について考えます。また平等や正義の在り方についても考えます。 本講義では、アメリカのマイノリティによる文学作品について紹介、分析するだけでなく、アメリカの歴史や文化、マイノリティ研究、フェミニズムなどについても紹介します。補助教材として映像作品なども紹介する予定です。 教科書：指定なし。必要に応じて資料を配布します。 持ち物：筆記用具
公立化施設論 (土屋 正臣) [秋学期]	本講義は、公立文化施設の中でも特にミュージアム(博物館・美術館)を取り上げます。近年のミュージアムは資料の収集と保存、調査研究、展示といった基本的機能に加え、市民の自己啓発支援、生活における「第3の場所」としての役割、地域アイデンティティの確立、観光振興といった幅広い役割を担っています。こうしたミュージアムの社会的役割の拡大と地域社会との関係の変化について教員自身の公立文化施設における実務経験に基づきながら言及しつつ、文化によるまちづくりの今日的潮流を考えていきます。このことにより、総論レベルから実務レベルまでを射程に入れ、ミュージアムの実態に即した具体的な問題解決の方法を提示する能力を習得します。 教科書：『新時代のミュージアム:変わる文化政策と新たな期待』 (ミネルヴァ書房) 持ち物：ノートパソコンもしくはタブレット端末

経営分析Ⅱ (山田 優子) [秋学期]	会計は「ビジネスの言語」といわれ、企業にとって必要不可欠なものである。すなわち、企業は事業活動の結果を帳簿に記録し、財務諸表を作成しなければならない。 財務諸表は、企業を取り巻く利害関係者がその企業の財政状態および経営成績を理解するうえで重要なだけでなく、企業内部での経営管理にも役立つ。 本講義では、企業が外部に公表している財務諸表を利用して行う財務諸表分析と、企業内での業績管理（利益管理、資金管理等）のさまざまな手法を理解することを目標としている。 本講義の目標は、財務諸表の構造・読み方・分析等の応用知識（ビジネス会計検定2級合格程度）を習得することである。 講義は毎回「(前半) 知識のインプット・(後半) ワークショップ」のセットで行う。会計学に関心があり、ワークショップや課題にも主体的に取り組む意欲のある学生を歓迎する。 教科書：『ビジネス会計検定試験 公式テキスト2級』中央経済社 持ち物：必ず電卓を持参すること その他：担当教員は、公認会計士として財務諸表監査やコンサルティングの実務経験があり、企業の実例を織り交ぜながら講義を展開する。
エネルギー科学と社会 (ティティレイ) [秋学期]	この講義では前期のエネルギー科学の基礎で学んだ熱エネルギー法則（エントロピー）、電気エネルギー、運動エネルギーに関連する基礎知識を元に再生エネルギー、新しいエネルギー源を含め、様々なエネルギー源の利点および問題点を掘り下げていくことにより、創造的思考力を養い、エネルギーに対する幅広い見識を得ることを目的としている。 1. エネルギー利用の歴史：火の利用から始まるエネルギー利用の歴史を理解する上で現在のエネルギー利用の現状を理解する。 2. 熱機関（外燃機関）、蒸気機関、蒸気タービン、スターリンエンジンを理解する。熱機関（内燃機関）ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン、ガスタービンを理解する。 3. 発電の原理：運動エネルギーを電気エネルギーに変える。直流と交流、送電について理解する。 4. 核化学1：原子の構造と同位体・不安定同位体の壊れ方について理解する。 5. 核化学2：放射線の量とその影響について理解する。 6. 原子力発電：核エネルギーと核分裂の開始・停止とウランの濃縮について理解する。原子力発電のコストと廃棄物処理を理解する。 7. 中間テスト。 8. 太陽光発電1：太陽光発電の歴史と太陽光エネルギーについて理解する。太陽光発電半導体技術について理解する。太陽光発電の未来について理解する。 9. その他の発電（風力発電、潮力発電、波力発電）について理解する。

	10. 再生エネルギー：地熱発電，ごみ発電(ごみ資源)について理解する。 11. 環境問題とエネルギー（地球温暖化）について理解する。 12. 脱炭素社会とコミュニティーベースのエネルギー構造を理解する。 13. まとめ。 教科書：毎回試料を配布し、特に使用しない予定。 持ち物：筆記用具 その他：参考書：①エネルギーの科学 第2版、(人類の未来に向けて) 安井伸郎 (著) ②コミュニティーエネルギー (室田武、他) (著)
生活と化学物質Ⅱ (八木 創) [秋学期]	化学そのものを中心に据えながらその実用性や応用面などを通し化学と日常生活の結びつきについて講義を行います。授業は化学科教員全員が得意分野を中心として趣向をこらしたテーマを設定したオムニバス形式で進めます。以下のようなテーマを扱う予定です。 半導体 炭素材料 岩石・鉱物から見た地球の進化 ディスプレイ材料 身近な名前を持つ化学物質たち 動物の性一性染色体とホルモン 身近な機能性物質～磁石の起源とその応用 色の化学 化学の黎明 生活と放射線—放射線の持つ性質と産業利用 脳に作用する化学物質 あまーい化学漫談 遺伝子組み換えとゲノム編集の違いって？ 教科書：使用しません。 持ち物：筆記用具

漢方薬 (北村 雅史) (横川 貴美) (玄 美燕) [秋学期]	【授業の方法・講義手法の概要】 教科書および配布資料に基づき講義形式で行う。 漢方医学の考え方、代表的な漢方処方について体系的に理解し、現代医療で使われる生薬・漢方薬について理解することを目的とする。漢方医学は中国で生まれ、日本で独自に発達した医学である。漢方の歴史、漢方・中医学の特徴について学び、漢方薬の薬効、生薬の薬能、頻用漢方処方の適応となる証、症状や疾患に関する知識を習得する。
化粧品・香粧品学 A (高木 豊) [秋学期]	【授業の方法・講義手法の概要】 教科書および配布資料に基づき講義形式で行う。 化粧品は顔・体を清潔にする、健やかに保つ、外見を際立たせる等の目的で用いられるものである。そのため、化粧品を有効にかつ安全に使用するためには、肌についての知識を高め、化粧品の功罪を使用者に正しく伝える必要がある。 そこで、「化粧品・香粧品学 A」では、まず健康な肌（皮膚）そして病的な肌の形態と機能、次に化粧や美容のための科学的側面について学ぶ。さらに、これらの知識を基に、化学物質としての香粧品（化粧品を含む）を知り、これらの最適使用法について考えられるようにする。 教科書：美容のヒフ科学（南山堂） 持ち物：なし その他：なし

ハーブ論 (須永 克佳) (菊地 秀与) [秋学期]	【授業の方法・講義手法の概要】 配布資料に基づき講義形式で行う。 ハーブとは香草や薬草と邦訳され、人の生活に役立つ植物を指します。その中で人の健康維持のために利用しようとするものはメディカルハーブと呼ばれます。現在、健康志向が高まり、自分の健康を自分で守るという「セルフメディケーション」が推進されており、メディカルハーブの活用が進められています。さらにメディカルハーブは、機能性表示食品や健康食品の素材としても注目されています。 本講座ではメディカルハーブをセルフメディケーションに安全かつ有効に活用するための知識、すなわち機能性（作用）、有効成分、安全性、使用方法、医薬品との相互作用などについて修得することを目的とします。また、メディカルハーブを活用するアロマセラピーやハーブ療法など植物療法（フィトセラピー）の概要についても学びます。 教科書：配布資料
接客英語Ⅱ（CR 英語） (三國 信夫) [秋学期]	(1) 授業の概要 接客英語Ⅰで学んだ基礎をもとに、より高度な表現や対応スキルを身につけます。ケーススタディやシチュエーション別のロールプレイを取り入れ、実践力を強化します。 (2) 授業の目的 接客英語の応用を学び、実際に接客の場面で活用できる応用的なスキルを身につけることを目的とします。 (3) 授業の方法 この講義は主として、演習形式で行います。 授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。 ・ 問答法（学生の意見や小テストの結果、アイデア、学習理解状況を聞いて、それを基に授業を進めていく） ・ 学生の回答などのフィードバックが授業の構成要素に入っている ・ 学生への発問及びその回答が授業の構成要素に入っている ・ P B L ・ ディスカッション・ディベート ・ ICT を利用した授業内レスポンスの活用（クリッカー等） ・ グループワーク ・ プレゼンテーション

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科 目 名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
公益事業論	後期	火	2	11:15~12:45	若干名
経済体制論	後期	水	3	13:30~15:00	若干名
広告論	後期	金	1	9:30~11:00	若干名
流通システム論	後期	金	2	11:15~12:45	若干名
マーケティング・リサーチ	後期	金	3	13:30~15:00	若干名

※ 授業科目、開講曜日・時限は変更になる場合がありますので、ご了承ください。

※ 各科目とも授業は15回の予定です。

※ 後期授業は、9月22日（月）から開始する予定です。（※変更の可能性あり）

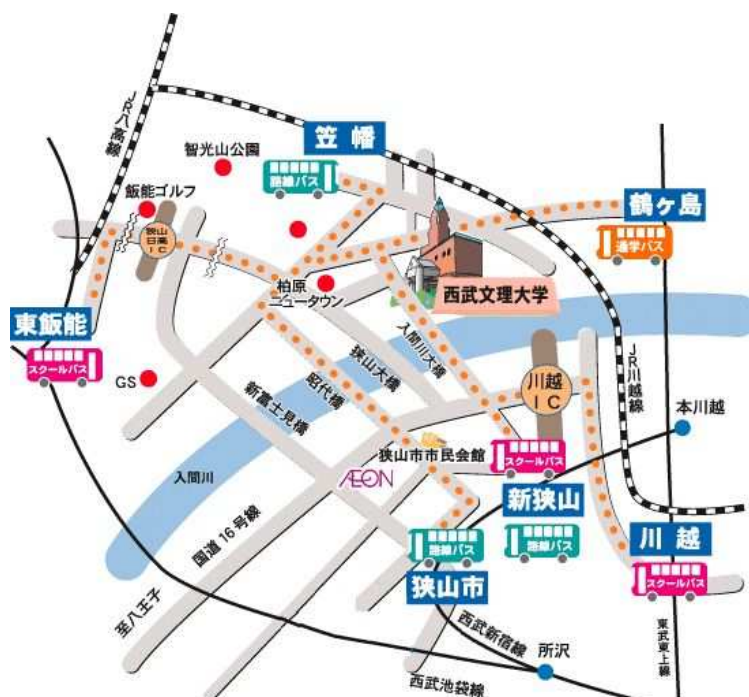
(2) 場所

西武文理大学キャンパス

※ JR埼京線川越駅・西武新宿線新狭山駅・JR八高線東飯能駅からスクールバス、東武東上線鶴ヶ島駅からは通学バスを運行しています。

※ スクールバス・通学バスをご利用の場合は、事前に学生サービス課までご連絡ください。

※ 車での通学も可能です。



2 受講料等

- (1) 受講料 1 科目 (半期) につき 10,000 円 (初講日に徴収)。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和 7 年 9 月 1 日(月) (消印有効)

- (2) 申込先

〒350-1336 埼玉県狭山市柏原新田 311-1 西武文理大学 学生サービス課 (リカレント)
電話:04-2954-7575 FAX:04-2954-7511 E-mail:kyoumu@bunri-c.ac.jp

- (3) 申込方法

はがき、FAX 又は E-mail にて、以下の事項をもれなく記入の上、いずれかの方法にてお申し込みください。(記入もれがある場合には、申し込みを受け付けられないことがあります。)

- ①郵便番号、住所
- ②氏名 (ふりがな)
- ③年齢 (令和 7 年 4 月 1 日現在)、性別
- ④電話番号
- ⑤受講希望科目 (希望順に記入、何科目でも可)

- (4) 選抜方法

- ・定員を超える申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。
- ・受講者の決定につきましては、9 月中旬にご連絡いたします。

- (5) その他

- ・申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料につきましては、お返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・諸事情により、一部オンライン形式など対面以外の方法による講義に変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

※ 現時点での予定につき、担当教員や一部講義内容が変更になることがあります。

公益事業論 (中谷 勇介)	授業の概要 公益事業には民間事業と異なる性格があるため、特別な立法措置等がなされています。その一方で、民間事業と類似した部分もあるため、特に、1980年代以降欧米では新しい経済理論を主な根拠として、競争を促進する規制緩和が推進され、日本でも国鉄等が民営化されました。本講義の第1クールでは、総論として公益事業とその規制に関する理論等について解説します。第2クールでは個別の公益事業について実態・課題を解説し、最後に公益事業の展望と課題について解説します。 科目の位置づけ この科目は実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。観光産業と関連の深い運輸事業やその他の公益に資するサービスを提供する各種の事業の新しい課題についてもできるだけ採り上げたいと思います。これを通じて、公益事業で提供されるサービスの効率性と適正性のバランスについて皆さんに考えていただきたいと思います。 到達目標 (1) 公益事業の特殊性について理解し、公益事業における規制緩和と民営化の現状、およびそれが抱える課題について説明できる。 (2) 公益事業における公益性と効率性と所有（経営）形態の関係性について理解するとともに、公益事業の自由化や民営化が我々の市民生活にどのように影響するかを討議できる。
--------------------------	---

経済体制論 (伊東 林蔵)	授業の概要 授業では、日本、アメリカ合衆国、ヨーロッパ、アジア諸国、ラテンアメリカなど世界の国々の代表事例を取り上げ、経済の「仕組」が作られていく過程とその成果や課題を探究します。その際、経済の発展にはその国や地域の政治や歴史も重要な要因となっています。どのような経済の仕組が望ましいのかという資本主義と社会主義の対立や、社会主義の失敗から市場経済への移行、経済発展のための「独裁」などです。そこで各講義ではそれぞれの国や地域の経済の仕組の特徴とその成果・課題を明らかにしていきます。 科目の位置づけ この科目は、実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。グローバル経済総論や経済史で世界経済の動向、歴史を理解したと思いますが、世界には、残念ながら日本やアメリカ、ヨーロッパ諸国のように発展して豊かな国と、アフリカの内陸のように貧困に苦しむ国があります。また中国やベトナム、ブラジル、ロシアのように発展を遂げつつある国もあります。この講義ではなぜそのような国による経済の発展の違いが起きるのか、その比較をテーマに、それぞれの国や地域の経済の「仕組」に焦点を当てて解説し、経済のグローバル化の多様な側面を理解します。 到達目標 (1) 世界各国の経済の発展または停滞に関する事例、過程を、経済学とその関連分野から総合的に論じることができる。 (2) 世界各国の経済事情について、経済学の基本である市場メカニズムと、各国経済の歴史的、制度的な展開とを複合的に理解し、経済発展の条件を討議できる。
広告論 (金澤 良昭)	授業の概要 本講義では、理論的視点と実務的視点の両面から、広告についての重要なトピックを取り上げて解説していきます。マーケティング活動の一環としての広告を概観した後、広告媒体ごとの特徴、効果、動向等を学びます。加えて広告表現、媒体計画の企画などのグループワークを通して広告の理解を深めてもらいます。また授業では理解が促進できるようDVDなどの映像教材も活用したいと考えています。 科目の位置づけ この科目は、実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。広告については、さまざまな学問領域で研究されていますが、この授業においては経営学、マーケティングの視点で説明していきます。 到達目標 (1) 企業が広告を行う目的やプロセス、効果について基本的な内容、メディアと周辺の技術の変化が広告に及ぼす影響を理解し説明することができる。 (2) 企業が広告を行う目的やプロセス、効果について分析し、その結果を対象者に合わせて文章と図解によって表現することができる。

流通システム論 (李 楊)	授業の概要 流通システムにおいてディプロマポリシーにある、知識・理解と汎用技能、態度・指向性を学びます。生産と消費を結び社会に必須な機能である卸・小売りなどの「流通の仕組み」を学びます。なぜユニクロやAmazonは低価格で利益が出るのか、コンビニや百貨店はなぜ定価販売なのかなど仕組みから理解します。 科目の位置づけ この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（３）、すなわち、サービス・マネジメントコースの実践的で柔軟な専門性を習得する科目として位置づけられます。基礎経営学、マーケティングの知識を前提としています。製造業からみると流通はマーケティングチャンネルですが、流通業からみればチャンネル(店舗、ネット等)だけでなく マーケティングの 4P が揃っていますので、この授業ではマーケティングを流通と言う仕組みで学ぶことになります。 到達目標 (1) 流通の基本構造を理解し、組織形態別小売業の運営特性（チェーン・ストアの3 形態等）について説明することができる。 (2) 店舗形態別小売業の運営特性（百貨店、GMS、スーパーマーケット、ホームセンター等）、グローバル・リテーラーの主力業態とその戦略について理解して業界分析について表現できる。 (3) マーケットの変化と経営との関連性について意識を高め、常に競合状況、社会背景、戦略の三つの視点から企業経営を観察し説明することができる。
マーケティング・リサーチ (田辺 忠史)	授業の概要 マーケティング・リサーチの意味や重要性をマーケティング戦略との関連で、確認します。この段階で市場を分析する枠組みの確認なども行います。つぎに、調査手法の種類と特徴を学び、リサーチ・デザインを取り上げます。また、個々の課題にどんな手法が有効かをいくつかの具体的な事例を踏まえて学びます。具体的には、「２次データの収集・分析・活用」、聞き取り調査や観察などの「質的調査」、また、「調査票調査」に代表される「量的調査」、テスト・マーケティングや商品テストなどの「実験・テスト」などを学びます。最後に、「集計と分析の方法」「報告書作成」を学びます。 科目の位置づけ この科目は、実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。マーケティング・リサーチは、消費者や顧客をはじめとした企業を取り巻くさまざまな環境を調査し、得られたデータをもとにして現状把握や将来予測を行い、マーケティング活動に役立てる一連の方法・技法について学ぶ学問です。 到達目標 (1) マーケティング活動のさまざまな課題を発見し、問題解決に必要なデータの収集、分析を行う方法と技法を説明できる。 (2) データ（資料）の収集・整理・分析し、特長を表す数字を見つけ、表やグラフにして疑問や解決すべき問題を表現することができる。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科 目 名	担当教員	実施 時期	曜日	時限	定員	授業時間
ライフコース論	大友 由紀子	後期	月	4	若干名	1 限 9:00～10:30 2 限 10:40～12:10 3 限 13:00～14:30 4 限 14:40～16:10 5 限 16:20～17:50
日本文学史C	小林 実		火	2		
文化と心理学	笹倉 尚子		水	3		
日本語音声学	稲田 朋晃		木	1		
食医学	辻 典子		木	3		
食とアレルギー	林 典子		金	1		
日本語学研究A	星野 祐子		金	2		
表現活動（応用）	久保田 葉子 他		金	3		

※上記時間割は令和7年6月1日現在のものです。

今後、急な時間割変更が発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は15回の予定です。

※授業は9月19日（金）から開始しますが、一部変則的な取り扱いがあります。

※授業は原則として対面で実施しますが、学内の感染状況が悪化した場合は、オンライン授業に切り替える可能性があります。

(2) 場所

十文字学園女子大学

〒352-8510 新座市菅沢2-1-28

[アクセス方法]

- JR 武蔵野線「新座駅」下車、徒歩8分
- 東武東上線「志木駅」下車、「清瀬駅北口」行きバスで「十字女子大入口」下車、徒歩5分
- 西武池袋線「清瀬駅」下車、「志木駅南口」行きバスで「十字女子大入口」下車、徒歩5分



※駐車場のご用意が出来ませんので、公共の交通機関でのご来校をお願いいたします。

2 受講料等

(1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

(教科書については第1回目の授業で担当教員から説明があります。)

※受講料は、説明会時にクレジットカード・ICカードによる電子決済でのお支払いとなります。

※一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができませんので、あらかじめご了承ください。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年8月18日(月)(消印有効)

(2) 申込先

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

十文字学園女子大学 社会連携推進課

電話:048-477-0958(直通)

(3) 申込方法

官製はがきに以下の事項を**もれなく**記入の上、郵送でお申込みください。

(1) 「大学の開放授業講座 受講申込」と明記

(2) 氏名・ふりがな

(3) 年齢(令和7年4月1日現在)

(4) 性別

(5) 電話番号

(6) 郵便番号・住所

(7) 受講希望科目・担当教員名(何科目でも可)

※申込後に、都合により受講できなくなった場合はお早めにご連絡ください。

(4) 選抜方法

定員を超える場合または多数の申込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。(受講の可否、受講決定科目は8月下旬を目途に申込者全員にお知らせします)

(5) その他

本学が示す感染防止対策にご協力をお願いします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

ライフコース論 (大友 由紀子教授)	家族には生活周期がみられるため、より長いスパンでの生活設計が可能となります。ところが個人の生き方は多様化しています。家族の生活周期と個人のライフコースとはどう交錯するのか、また、それは時代や世代によってどう変化しているのか。家族の発達アプローチの基本を学修し、女性の自立とライフコース選択、格差社会におけるライフコースのステージ移行の遅れ等、人生 100 年時代を生き抜くための課題を検討します。
日本文学史C (小林 実教授)	明治から昭和にかけての小説を中心とする文学史を学びます。教科書の内容を基本とし、さらに専門的な事柄を講義します。教養として知っておきたい作家や作品を紹介しながら、それらの時代背景、メディアの仕組み、文壇形成の条件など、「文学史」を多角的に学ぶことを目的としています。【テキスト】『原色 新日本文学史 (増補版)』文英堂
文化と心理学 (笹倉 尚子准教授)	文化は人の心を映す鏡であると言われます。本授業では現代文化、とりわけ日本の若者文化（ゲーム、アニメ、漫画、小説、インターネット等）を題材に、臨床心理学の視点からそれらが心に与える影響を読み解くことを通して、豊かな想像力や幅広い思考力を身につけることを目指します。【参考図書（必須ではありません）】『サブカルチャーのこころ』木立の文庫
日本語音声学 (稲田 朋晃准教授)	オンライン会議の増加や YouTube 等の人気に伴い、音声コミュニケーションの重要性はますます高まっています。本講義では、母音・子音、アクセント、リズム、音声と印象の関係など、音声が持つさまざまな側面を基礎から解説します。理論の理解にとどまらず、早口言葉、言い間違い、短縮語、ポピュラー音楽の歌詞など身近なものへの応用も考えながら音声への理解を深めます。
食医学 (辻 典子教授)	私たちは「食べる」ことで生命と心身の健康を維持しており、近年注目を集める腸内環境も、長年親しんだ食文化に応じて地域ごとに形成される側面があります。個々人においては、ストレスなど生活から誘発された腸内細菌叢と生体恒常性の乱れが、肥満、糖尿病、認知症など多くの疾病とも関連する可能性が示されています。そのような社会背景のもと、科学的根拠に基づいた食生活のデザイン、それを可能とする様々な食材の開発やヘルスマonitoringの価値はますます高くなっており、本講座では日本食の利点も整理しつつ、ひとりひとりにとって理想的な、また地域と地球にも優しい食とは何かを考える構成とします。
食とアレルギー (林 典子准教授)	昨今、食物アレルギーをもつ方が増えています。食物アレルギーの疫学、症状、診断、アレルゲン（原因食物）の特徴、食物除去の考え方、食物アレルギーに配慮された食品、食物アレルギー患者を取り巻く社会的環境等について学習します。 食物アレルギーの栄養食事指導の手引き https://www.foodallergy.jp/ を配布します。

日本語学研究 A (星野 祐子教授)	日本語を母語としない方に日本語を教えるための文法知識を身につけます。多くの問題を解き、日本語の様々な文法事項について、その法則を理解していきましょう。また、学校で学んだ「国文法」との違いも考えていきます。テキストは『考えて、解いて、学ぶ日本語教育の文法』（スリーエーネットワーク）を使います。
表現活動（応用） (久保田 葉子准教授・ 狩野 浩二教授)	将来、小学校教員を目指す学生（1 年次）向けに開講します。前期の「基礎」を未受講でも参加可能です。学生とともに、総合表現「かたくりの花（横須賀薫作詞、梶山正人作曲、一莖書房）」を練習し、発表（地元小学校等）します。朗読や歌唱、身体表現の楽しさを味わいます。教材はプリントして配布します。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科 目 名	担当教員	曜日	時限	定員
欧米文化研究	中島 浩貴	火	3	若干名
インテレクチュアルヒストリー特論（大学院）	中島 浩貴	火	4	
多文化コミュニケーションB	比嘉 徹徳	水	2	
機器分析	小曾根 崇	木	3	
機械力学Ⅰ・演習	古屋 治	木	3・4	
戦争と平和の歴史 ※	中島 浩貴	金	1	
戦争と平和の歴史 ※	中島 浩貴	金	2	
欧米文化研究	中島 浩貴	金	3	
無機・分析化学	小曾根 崇	金	4	

※「戦争と平和の歴史」は、いずれも同一内容の授業を行います。

【授業時間】※ 1 コマ 100 分授業。

1 時限： 9：20～11：00 2 時限： 11：10～12：50
3 時限： 13：40～15：20 4 時限： 15：30～17：10

【授業開始日】

9月15日（月）より開始します。

【講義回数】

各科目とも授業は14回を予定しています。

【学期末試験】

受験の必要はありません。

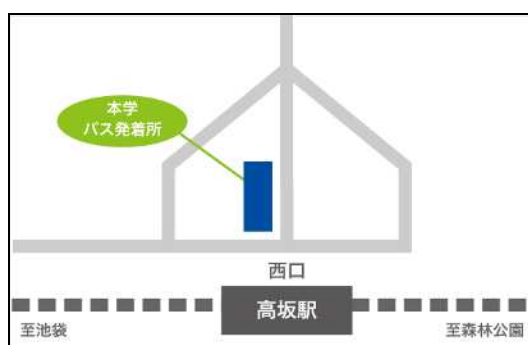
【注意事項】

- ・学内の IT サービス（ネットワーク、UNIPA、WebClass、Box、Zoom、Web メール、PC 貸与など）および図書館はご利用いただけません。
- ・各科目の担当教員、授業時間割、授業内容は変更となる場合があります。
- ・休講が発生した場合、通常とは異なる曜日・時限に補講が行われることがあります。
- ・授業は埼玉鳩山キャンパスでの対面形式で行います。なお、新型コロナウイルス感染拡大等の影響によりオンライン形式に変更された場合は、受講を中止させていただきます。

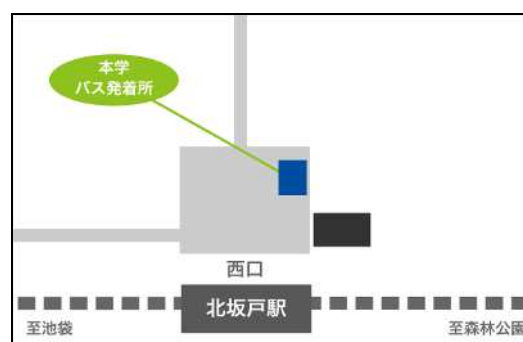
(2) 場所

東京電機大学埼玉鳩山キャンパス（住所：埼玉県比企郡鳩山町石坂）

- ・スクールバス（無料）は、東武東上線「高坂駅」および「北坂戸駅」からご利用いただけます。（高坂駅発：約 8 分、北坂戸駅発：約 10 分）
 - ・自動車での通学も可能です。希望される場合は、教務担当窓口までお申し出ください。
- なお、本学駐車場で発生した事故等について、大学は一切の責任を負いかねます。



高坂駅スクールバス発着所



北坂戸駅スクールバス発着所

2 受講料等

(1) 受講料 1 科目につき 10,000 円

(2) その他 教科書などの教材は、自己負担でご用意いただきます。
(教材の詳細については、初回授業時に担当教員より指示があります)

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和 7 年 8 月 22 日 (金)

(2) 申込先 ①e-mail の場合: ri-kyomu@jim.dendai.ac.jp

②はがきの場合:

〒350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂

東京電機大学 理工学部事務局 教務担当

(3) 申込方法

「e-mail」または「はがき」で、以下の事項をもれなく記入の上、お申し込みください。

- ①郵便番号・住所
- ②氏名・ふりがな
- ③年齢（令和7年4月1日現在）
- ④電話番号（日中連絡が可能な電話番号）
- ⑤緊急連絡先（受講者以外）
- ⑥メールアドレス（無い場合は「なし」と記入）
- ⑦受講希望科目名（複数選択可）
- ⑧通学方法（スクールバス、自動車（送迎含む）、その他）

(4) 選抜方法

定員を超えるお申し込みがあった場合は、抽選により受講者を決定いたします。
（受講の可否については、お申し込みいただいた方全員にご連絡いたします）

(5) その他

お申し込みの前に、以下の項目をご確認ください。

- ・第1回目の授業から出席が必要です。
- ・学内のITサービス（ネットワーク、UNIPA、WebClass、Box、Zoom、Webメールなど）および図書館（閲覧・貸出）はご利用いただけません。
- ・パソコンの貸し出しは行っておりません。

4 各授業科目の概要および担当教員

欧米文化研究 (中島 浩貴)	本講義では、ヨーロッパとアメリカの文化を見ていき、欧米文化の歴史的な変化を見ていきます。そして、欧米の文化的な影響を受けた日本が、どのように変化・対応していったかをも触れていく予定です。なお、映画やドキュメンタリーを見ることで、文化の類似と相違を感じてもらいたいと考えています。
インテレクチュアルヒ ストリー特論 (中島 浩貴)	近年、情報や知識、知、学問といったもののとらえ方が大きく議論されてきています。その背景には、情報や知と価値や意味が結びつくなかで、学術や産業などが生み出されてきた状況があります。この問題について、情報や知といったものがどのように変化してきた歴史的状況を把握する必要があります。現代においても様々な情報や知が形成され、独自性を持つようになっていく状況は変わりません。情報が世界を作り上げていく状況について、全体的な問題性と個別のテーマに絞つつ、実践的な視点も考察していくことが目的となります。本講義では文理複合的な領域において、情報による価値形成を論じていきます。
多文化コミュニケーションB (比嘉 徹徳)	前期「多文化コミュニケーションA」に引き続き、この授業ではドイツ語の初級文法をしっかりと学びながら、実践的なドイツ語会話の練習を行い、ドイツ語圏文化についてさまざまな話題を取り上げます。ドイツ語を入りに、ヨーロッパ全般への関心を高め、多文化コミュニケーションへの足がかりとします。必要に応じて、時事的な話題の紹介や映像の鑑賞を行い、異なる文化への関心を広げることを目的としています。
機器分析 (小曾根 崇)	現代では分析機器を用いることで、より詳細な化学分析が行えるようになり、化合物の情報(結合、構造、組成等)は簡便に入手できるようになった。代表的な機器分析法について、基本的な測定原理、装置の仕組みと分析結果の求め方やデータの読み取り方を学ぶ。
機械力学Ⅰ・演習 (古屋 治)	我々の身の回りには、振動しているものが身近に多数あります。機械力学は、なぜものが振動するのかを学習する力学の講義であり、機械分野では、機械設計に必須な専門科目です。本科目では、運動方程式の立式に関する考え方から振動系に減衰がある場合、ない場合での振動応答などについて学びます。履修者は、本講義を通じて、機械工学に関連する分野で活躍するために必要な専門知識と工学基礎を身に付けることを目標とします。
戦争と平和の歴史 (中島 浩貴)	この講義では、世界を見ていくのに重要な戦争と平和の問題を軸に歴史をみていきます。1789年から1990年を中心に、フランス、プロイセン=ドイツ、イタリア、そして日本、アメリカなど世界を対象とします。近現代の世界史では、戦争と平和の問題が社会に大きな影響を与えてきました。最新の研究動向を踏まえながらも、わかりやすく話しながら、広い視野を持ってみていきます。
無機・分析化学 (小曾根 崇)	本講義では無機化合物の「性質」と「構造」を学ぶことで、構造と性質の一般的な相関関係を理解していく。内容は 1. 単純な無機化合物の結晶構造とその性質を学ぶ 2. 酸塩基反応についてルイス酸・塩基の概念から学ぶ。 3. 錯体の配位構造と異性体および結晶場理論の基礎を学ぶ。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
工業力学及び演習	後期	隔週水 毎週水	1 2	1 時限 9:10～10:50 2 時限 11:00～12:40 3 時限 13:25～15:05 4 時限 15:15～16:55 5 時限 17:05～18:45	若干名
工学倫理		木	3		
環境の科学		木	3		
生命の科学		金	2		
ネットワークコンピューティング		木	1		
MATLAB プログラミング		水	4		
会社法		火	2		
言語心理学		水	2		
知覚心理学		月	3		

※授業の曜日・時限等は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は14回の予定です。

※「工業力学及び演習」は2限続きの授業となっており、1限は隔週(月2回)、2限のみの週は演習授業の予定となっています。(全21回)

※授業は9月12日(金)から開始します。一部変則な取扱がありますので注意してください。

(2) 場所

埼玉工業大学 埼玉県深谷市普濟寺1690

JR 高崎線岡部駅下車 無料スクールバス乗車又は徒歩(15分)

各地区からの無料スクールバス案内

<http://www.sit.ac.jp/access/>

自家用車による通学可(駐車場無料)



2 受講料等

- (1) 受講料 1 科目（半期）につき 10,000 円。
 ※受講科目決定後に、振込にて納入いただきます。
 ※一旦納入された受講料は、お返しできませんのでご注意ください。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年8月20日（水）必着
- (2) 申込先
 〒369-0293
 埼玉県深谷市普濟寺1690
 埼玉工業大学 教務課 リカレント係
 TEL：048-585-6813 FAX：048-585-5939
 E-mail：kyomu@sit.ac.jp
- (3) 申込方法
 はがき、FAX、E-mail のいずれかにより、以下の事項をもれなく
 記入の上、お申し込みください。
 ①郵便番号・住所
 ②氏名（フリガナ）
 ③年齢（令和7年4月1日現在）・性別
 ④電話番号
 ⑤受講希望科目（何科目でも可）
- (4) 選抜方法
 定員を超える申込みがあった場合は、先着順により受講者を決定します。
 受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。
- (5) その他
 授業は原則として対面で実施します。

4 各授業科目の概要及び担当教員

No	科目名 (担当教員)	概要
1	工業力学及び演習 (政木 清孝 教授)	工業力学は機械工学科で学ぶ4大力学(材料力学、流体力学、熱力学、機械力学)の基礎として最も重要な科目として位置づけられている。 様々な実問題を、単純な力のつり合いや運動に関する問題に置き換えて解くことを目的とし、力や運動の扱い方、つりあう力の解析方法、力の作用のもとで起こる運動の記述方法、そして物体に力が作用するときの運動について講義する。
2	工学倫理 (河田 直樹 教授)	工学とは科学を産業に応用する学問であり、社会実装を目標にしている。社会実装にはコストがかかり、企業ではその対価として利益がもとめられる。その利益を追求するあまり、安全や環境、その他のルールが損なわれることがあり、倫理観が重要となる。本講義では、工学に関する倫理観について、主に日本国内で生じたいくつかの事例を取り上げ、特に安全と環境に関する視点に重きをおいて問題点と解決方法について考えながら学ぶ。
3	環境の科学 (有谷 博文 教授)	いわゆる「環境問題」の基本と考え方、取り組み方などを、専門分野も交えつつ解説します。身近な「環境」の問題(汚染問題、省エネルギー、自然エネルギー利用、リサイクルなど)、および国際的な「地球環境」の問題(温暖化ガス抑制、資源枯渇、食糧問題など)に分けて様々なトピックスを交えて講義します。それらはみな生活と直接結びついていることから、いかにして環境諸問題を解釈し、生活の中でどのように役立てられるかを考えます。
4	生命の科学 (石川 正英 教授 秋田 祐介 准教授 坂井 隆浩 非常勤講師)	生命科学は、生物の持つ特質に関する研究成果を統合するとともに、その意義を考えヒトとのかかわりを理解するための学問分野である。本講義は、生命科学の先端研究や技術を、幅広く「トピックステーマ」として紹介する。

5	ネットワーク コンピューティング (前田 太陽 准教授)	ネットワークは個々の要素技術が複合された総合的なシステムであり、ネットワークを設計するためには全体をまとめ上げる技術や知識が必要とされます。ネットワーク設計に必要な技術知識、設計技法、関連技術について概説します。
6	MATLAB プログラミング (高橋 俊典 准教授)	数値解析の面倒な作業を助けてくれるソフトウェア MATLAB の使い方について勉強します。 数学、数値計算、プログラミングなどについての予備知識や経験は不要です。 自分自身ですべての操作を実際に行きながら、便利になったプログラミング環境を体験学習します。
7	会社法 (李 艶紅 准教授)	企業社会を支える基盤となるのが「会社」であり、それを規制するのが「会社法」です。会社法は、会社の設立、組織、運営・管理などを規律する基本法です。本講座では事例・裁判例を多用して、具体的な場面のなかで、会社法の制度の目的や趣旨を理解できるよう、会社法を基礎から丁寧に解説します。
8	言語心理学 (学習・言語心理学Ⅱ) (河原 哲雄 教授)	認知科学の主要な研究領域の一つである、人間の言語とそのモデル化について、基本的な研究方法と研究成果を学ぶ。言語心理学・認知心理学と、その隣接科学における実験的研究を中心に概観するが、生成文法理論や認知言語学といった言語学理論や、工学的な自然言語処理モデルにも触れる。
9	知覚心理学 (知覚・認知心理学Ⅰ) (大塚 聡子 教授)	知覚とは、感覚受容器を通して外界や自己の状態を知るはたらきである。知覚に心理学的な側面があることは、錯視や錯覚といった現象があることに示される。この授業では5感（視・聴・味・嗅・体性感覚）と時間感覚について、基盤となる脳神経系のしくみに言及しつつ心理学の立場から解説する。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科 目 名	実施時期	曜日	授業時間	定員
地域と食	9/25～1/15	木	10:55～12:25	若干名

(2) 場所 東都大学深谷キャンパス

〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西 4-2-11

- ・ JR 高崎線「深谷」駅より徒歩 20 分
- ・ 市内循環バスくるリン・深谷駅北口発西循環便「アリオ深谷」下車
- ・ 隣接する「アリオ深谷」との無料協働シャトルバス利用の場合
JR 高崎線「深谷駅」南口⇔アリオ深谷停車場。所要時間は約 10 分
- ・ お車でお越しの場合、関越自動車道・花園 I.C. から約 20 分



2 受講料等

(1) 受講料 1 科目 (半期) につき 10,000 円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意していただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年9月5日(金)

(2) 申込先

「地域と食」

担当：東都大学管理栄養学部教務課

Mail：e-kyomu@tohto.ac.jp

(3) 申込方法

以下の事項を入力の上、電子メールでお申込みください。

※電子メールのみ受け付けております。その他のお申込み方法では受け付け不可となりますのでご注意ください。

件名 「大学の開放授業講座受講申込」

本文

① 郵便番号・住所

② 氏名
ふりがな

③ 年齢（令和7年4月1日現在）、性別

④ 電話番号

⑤ メールアドレス

⑥ 受講希望科目（何科目でも可）

⑦ 受講希望理由（400字程度）

(4) 選抜方法

申込受付後、面接により受講の可否を決定します。

定員を超える申し込みがあった場合には、抽選を行います。

※受講の可否および受講決定科目は申込者全員にお知らせします。

(5) その他

・一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができませんので、あらかじめご了承ください。

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、オンライン上で受講頂くかたちとなる可能性もございます。

4 授業科目の概要

地域と食	日本は地勢や自然の豊かさに加え、歴史的、文化的な影響により各地域で特有の食文化や郷土料理が存在している。 本講義では日本の食文化や郷土料理について理解を深め、次世代への継承、地場産物などを活かした地域活性化のための方策について考察する。 また、宗教と食物禁忌、諸外国の食文化について扱い、日本との違いや共通点について学ぶ。
------	--

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

NO	科 目 名	担当者名	実施 時期	曜日	時限	授業時間	定員
1	エイジングの心理学	山崎幸子	後期	月	2	1 限 9:10～10:40 2 限 10:50～12:20 3 限 13:10～14:40 4 限 14:50～16:20 5 限 16:30～18:00	若干名
2	権利擁護を支える法制度	中島修		火	2		
3	教育の思想と歴史	木村浩則		火	3		
4	メディア社会学	登丸あすか		木	3		
5	臨床心理学概論Ⅱ	横山剛		金	1		
6	障がい者スポーツ概論	青木通		金	3		
7	運動学Ⅰ	山崎敦		集中			
8	物理療法学Ⅰ	中俣修		集中			
9	発達期作業療法学演習Ⅱ	神作一実		集中			
10	作業分析学	西方浩一		集中			
11	神経系作業療法評価学	大橋幸子		集中			

*授業の曜日や時限は、変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

*各科目とも、授業は全15回を予定しています。

*学期末試験の受験は不要です。また、成績評価も行いません。

*No.1～6 <人間学部 開講科目>

⇒ 9月第3週目より順次授業が開始いたします。

*No.7～11 <保健医療技術学部 開講科目>

⇒ 集中授業形式で実施されます。詳細な授業日程は概要欄をご確認ください。

⇒ 初回授業日については、以下の通りです。

- ・運動学Ⅰ (9/18 1時限目)
- ・物理療法学Ⅰ (9/16 4時限目)
- ・発達期作業療法学演習Ⅱ (10/24 3・4時限目)
- ・作業分析学 (9/22 4・5時限目)
- ・神経系作業療法評価学 (9/22 2・3時限目)

(2) 場所

文京学院大学ふじみ野キャンパス
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196
TEL (049) 261-6488 (代)

アクセス方法

- 東武東上線ふじみ野駅西口より
スクールバスで7分(無料)
- 東武バス「ふじみ野駅」発 大井循環
(文京学院大学経由)「文京学院大学前」
下車、9分(有料)



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円
(初講日に現金にて徴収)。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年9月1日(月)(消印有効)

- (2) 申込先

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196
文京学院大学 教務グループ
電話 049-266-0253
E-mail: f-hum-kyoumu@m.bgu.ac.jp

- (3) 申込方法

以下の事項を漏れなくご記入の上、Eメールにてお申し込みください。
なお、Eメールの送受信が難しい場合は、ハガキでのご送付をお願いいたします。

- (1) 郵便番号、住所
- (2) 氏名ふりがな
- (3) 年齢(令和7年4月1日現在)、性別
- (4) 電話番号
- (5) 受講希望科目

- (4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。

- (5) その他

やむを得ず受講を取りやめる場合は、早めにご連絡をお願いいたします。未受講の場合、受講料は不要ですが、お支払いいただいた受講料の返金はできかねますので、ご了承ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

エイジングの心理学 (山崎 幸子)	医療、福祉、介護に加え企業においても高齢者や高齢期に対する関心が増え対応が求められてきている。本講義で学んだ成果を社会に出た際に活用していけるよう、高齢期特有の身体状況、社会環境要因などについても触れながら、それらがどのように心理面に影響を及ぼすかといった多面的で包括的な理解を促すことを目的とする。
権利擁護を支える法制度 (中島 修)	法に共通する基礎的な知識を身につけるとともに、権利擁護を支える憲法、民法、行政法の基礎を理解する。また、権利擁護の意義と支える仕組みについて学習し、権利が侵害されている者や日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実践について理解する。そして、権利擁護活動を実践する過程で直面しうる法的諸問題を理解し、ソーシャルワークにおいて必要となる成年後見制度について理解することを目的とする。
教育の思想と歴史 (木村 浩則)	古代から近代、現代の子育て・教育思想について理解するとともに、それを現場の教育実践と関連づけてとらえることができる。教育の営みを歴史的視点から洞察することで、現実をクリティカルにとらえ、別様な教育やあり方を構想できる。
メディア社会学 (登丸 あすか)	メディアスタディーズの基本的な理論、メディアの発展の歴史を理解し、現在のメディア社会における諸問題を多角的に捉える視点を身につける。授業の前半ではメディア研究の歴史、後半ではメディアと社会の関わりについて学ぶ。
臨床心理学概論Ⅱ (横山 剛)	臨床心理学の種々のテーマについて、心の多次元的捉え方、理解の仕方、臨床心理学上の基礎知識、実践、研究領域、方法、倫理などを学ぶ。
障がい者スポーツ概論 (青木 通)	障がい児・者と運動・スポーツとの関連性を多面的に理解し、支援していく際に必要となる基礎的な知識を身につける。また、得られた知識を実践場面で活用する方法を学ぶ。
運動学Ⅰ (山崎 敦)	骨・関節・筋といった運動器に関する解剖・生理学的知識を学ぶ。また、肩複合体および肘・前腕複合体の解剖学的構造とその運動について学ぶ。 ①9/18 1時限、②9/22 3時限、③9/29 3時限、④10/6 3時限、 ⑤10/20 3時限、⑥10/27 3時限、⑦11/3 4時限、⑧11/10 3時限、 ⑨11/17 3時限、⑩11/24 3時限、⑪12/1 3時限、⑫12/2 2時限、 ⑬12/9 2時限、⑭12/15 3時限、⑮12/22 3時限
物理療法学Ⅰ (中俣 修)	物理療法は理学療法技術の一つである。この科目では各種物理療法で使用される機器の特性、物理的刺激に対する生体への作用、適応と禁忌について学ぶ。また、実際の実施方法について学ぶ。 ①9/16 4時限、②9/30 4時限、③10/6 2時限、④10/7 4時限、 ⑤10/14 4時限、⑥10/20 3時限、⑦10/20 4時限、⑧10/28 4時限、 ⑨11/4 4時限、⑩11/17 3時限、⑪11/17 4時限、⑫11/21 3時限、 ⑬11/25 3時限、⑭12/2 3時限、⑮12/9 4時限

発達期作業療法学演習Ⅱ (神作 一実)	障害を持っているお子さんの、リハビリテーションについて、演習を通して学んでいく科目です。知的障害や脳性麻痺などの障害に加えて、発達障害や被虐待児の作業療法について、演習を通して学びます。この科目では、食べる機能のリハビリテーションや吸引の実習も含まれます。 ①10/24 3時限、②10/24 4時限、③10/31 3時限、④10/31 4時限、⑤11/19 3時限、⑥11/19 4時限、⑦12/3 3時限、⑧12/3 4時限、⑨12/5 3時限、⑩12/5 4時限、⑪12/10 3時限、⑫12/10 4時限、⑬12/12 3時限、⑭12/12 4時限、⑮12/19 3時限
作業分析学 (西方 浩一)	日常的に行われる様々な活動を作業療法では作業と呼びます。本授業ではこの「作業」について理解を深め、分析する視点を養います。また人を作業的存在として捉えることができるようになることを目標とし、自分自身を作業を通して振り返る、作業と健康との関連などを学びます。 ①9/22 4時限、②9/22 5時限、③9/29 4時限、④9/29 5時限、⑤10/6 4時限、⑥10/6 5時限、⑦10/13 4時限、⑧10/13 5時限、⑨10/20 4時限、⑩10/20 5時限、⑪10/27 4時限、⑫10/27 5時限、⑬11/3 4時限、⑭11/3 5時限、⑮11/10 4時限
神経系作業療法評価学 (大橋 幸子)	主に脳卒中患者の身体機能および認知機能（高次脳機能）の検査・評価方法を学ぶ授業です。個々のニーズに沿ったリハビリテーションメニューを検討するために必要な、各種検査・評価法について、方法と手順、結果解釈について理解することを目的とします。実際に検査を行う実習が含まれます。 ①9/22 2時限、②9/22 3時限、③9/29 2時限、④9/29 3時限、⑤10/6 2時限、⑥10/6 3時限、⑦10/13 2時限、⑧10/13 3時限、⑨10/16 2時限、⑩10/27 2時限、⑪10/27 3時限、⑫11/3 2時限、⑬11/3 3時限、⑭11/10 3時限、⑮12/1 3時限

1 講座名・キャンパス

(1) 講座名

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	公開定員
環境とエネルギー	秋学期 (令和7年9月～ 令和8年1月)	水	1 限	9 : 00～10 : 40	10 名
音響・画像処理		木	2 限	10 : 50～12 : 30	10 名
電力発生技術		月	3 限	13 : 20～15 : 00	10 名
感性情報工学		水	3 限	13 : 20～15 : 00	10 名
世界遺産とアジアの建築		木	1 限	9 : 00～10 : 40	10 名
ライフスタイルと住空間		金	1 限	9 : 00～10 : 40	10 名

*この実施予定は6月20日現在のものです。社会情勢や諸般の事情により、変更や中止になる場合もありますので、ご了承ください。

* 本学の上記講座のお申し込みにあたっては、本学 [生涯学習センターホームページ](#)に掲載する「令和7年度秋学期要項」を熟読のうえ、お申し込みください。

(2) キャンパス



東武動物公園駅西口より、徒歩14分、スクールバス5分。

J R宇都宮線・新白岡駅東口より、スクールバス12分。 *スクールバス料金:100円/片道

スクールバスの運行情報・ご利用につきましては

スクールバス運行情報・乗り場案内 | 実工学教育の日本工業大学 (nit.ac.jp) をご確認ください。

2 受講料・テキスト

- (1) 受講料 : 1 科目につき 10,000 円
 (2) その他 : 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます(書名、購入方法等は別途ご案内します)。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 **令和 7 年 8 月 29 日 (金)** (消印有効)

- (2) 申込先

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
 日本工業大学 生涯学習センター
 電話 : 0480-34-4111 (代表)
 E-mail: shougai@nit.ac.jp

- (3) 申込方法

以下の事項をご記入のうえ、E-mail または官製はがきでお申込みください。
 (電話での受付はしていません)

- ① 〒 住所 ② 氏名 (ふりがな) ③ 年齢
 ④ 電話番号 ⑤ 受講希望科目 (複数科目の選択可)

- (4) 受講手続

受講お申込を確認後、本学生涯学習センターより通知書を送付いたします。
 この通知書を熟読のうえ、所定の期日までに受講料の振込み等、受講手続を行ってください。

- (5) その他

本学が開講する開放授業講座を、今年度秋学期(後期)から新たに受講される方におかれましては、第1回講義に先立ち、受講いただくにあたっての諸説明を目的としたオリエンテーションを開催します。日時等の詳細は、受講手続をいただいた方へ個別に連絡いたします。

4 各科目の概要及び担当教員

科目名 (担当)	授業科目の概要
環境とエネルギー (丹澤 祥晃 教授)	太陽光、地熱、風力発電やバイオマス利用、LED照明、レアメタル、電気自動車、電池、住宅などのエネルギー・環境技術を知り、技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を理解する。また、これらに関する課題レポートによって、説明能力を身につける。
音響・画像処理 (木許 雅則 教授)	インターネットをはじめとする通信ネットワーク、PC やスマホなどのマルチメディア機器では、取り扱われるデータは全てデジタル化されている。本科目では、それらの主要な要素である「音」と「画像」を対象として、デジタル化の手法・利点やその応用技術について学ぶ。

電力発生技術 (竹本 泰敏 助教)	電力の発生から消費までの発電所、電気所、送電線路などの設備が結合されたシステムである電力系統のうち、電力の発生（発電）、変電について学ぶ。発電では、おもな発電種別である、水力、火力、原子力を中心に学習する。 また近年、系統導入量が拡大している再生可能エネルギー（太陽光、風力）の原理と系統連系時の課題についても講義する。
感性情報工学 (高津 洋貴 准教授)	ヒトの感性についての計測方法や解析方法を理解し、製品の開発や評価に応用できるようになることを到達目標とする。 この科目はマンマシンインターフェースの開発において、ユーザーの感性を定量的に評価し、応用する思考を身につけるものである。実験方法や解析方法なども含め、総合的な理解を行なう。
世界遺産とアジアの建築 (樋口 諒 准教授)	世界遺産とアジアの建築についての知識・理解を深めることを目的とする。アジアの歴史的建造物を主な対象とし、風土と建築の関係性、多様な建築の保存修復の事例、さらには建築遺産を受け継ぎ現在に活かす意義を学び、その理念とともに具体的な手法に関する専門知識を習得する。
ライフスタイルと住空間 (古賀 繭子 准教授)	現代の住空間の原型がいかに形成されてきたか、また、多様化するライフスタイルに応じてどのような住空間が出現しているかを社会的・文化的な文脈を通じて分析的に理解する。また、そのことを通じて、身の回りの住空間を分析的に捉える視点を身につける。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科 目 名	担当教員	開催曜日	開講時限	定員
地域政策・制度論 (第3クォーター)	矢尾板 俊平	火曜日 木曜日 ※一部の授業 回は遠隔形式 で実施	2 限 2 限	若干名
世界動向と国際貢献	石綿 寛	水曜日	4 限	若干名

※曜日・時限が変更になる場合がございます。

※「地域政策・制度論」は、クォーター制度を導入している学部の科目です。9月16日(火)から11月4日(火)までに週2回実施、全15回終了予定です。(12、1月の授業はありません)

<開講時限について>

- 1 限: 9 時 00 分～10 時 30 分
- 2 限: 10 時 40 分～12 時 10 分
- 3 限: 13 時 00 分～14 時 30 分
- 4 限: 14 時 40 分～16 時 10 分
- 5 限: 16 時 20 分～17 時 50 分

※後期授業は9月15日(月)から開始致します。

※受講人数により開講しない場合があります。

(2) 場所

◆淑徳大学 埼玉キャンパス

〒354-8510

埼玉県入間郡三芳町藤久保 1150-1

※車での通学はできません。

【無料スクールバスのご案内】

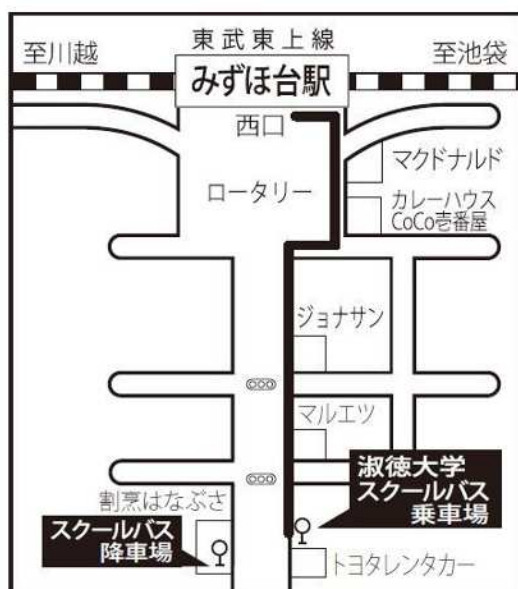
・東武東上線「みずほ台」駅西口より運行(所要時間約 10 分)

※みずほ台駅西口からスクールバス乗車場まで徒歩 5 分

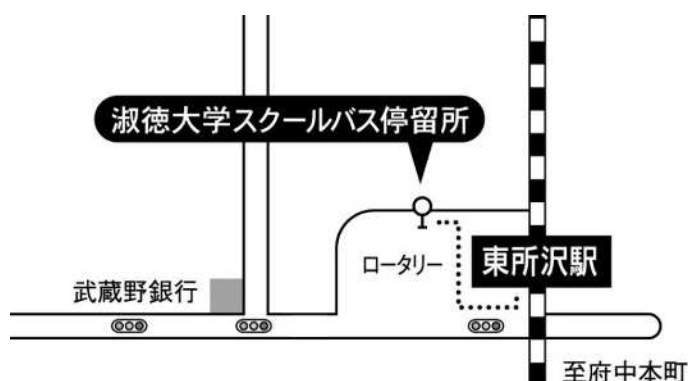
・JR武蔵野線「東所沢」駅前より運行(所要時間約 20 分)



【みずほ台駅】



【東所沢駅】



2 受講料等

(1) 受講料

1 科目 10,000 円

※一旦納入された受講料につきましては、原則として返金は致しません。

(2) その他

教科書等の教材は自己負担によりご用意していただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和 7 年 8 月 20 日(水) 必着

(2) 申込先 〒354-8510 埼玉県入間郡三芳町藤久保 1150-1
淑徳大学埼玉キャンパス 学事(教務担当)
TEL 049-274-1511(平日:9:00~16:30)
E-mail kyomu@u.shukutoku.ac.jp

(3) 申込方法 E-mail のみの受付となります。以下の事項を漏れのないよう記入のうえ、
お申込みください。
※E-mail 以外でのお申込み方法では受付不可となりますのでご注意ください。

メールの件名は【埼玉県開放授業講座】と明記してください。

- ① 郵便番号・住所
- ② 氏名ふりがな
- ③ 生年月日・年齢(令和 7 年 4 月 1 日現在)
- ④ 性別
- ⑤ 電話番号
- ⑥ メールアドレス
- ⑦ 受講希望科目

(3) その他

① 受講者多数の場合の対応

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
※受講の可否および受講決定科目は申込者全員にお知らせいたします。

② 受講前のご案内資料について

9 月初旬頃までに、受講前のご案内資料をご送付いたします。

③ 胸部 X 線結果の提出について

大学では多くの学生、教職員がおりますので、学校感染症の予防、そして蔓延を防ぐため、結核検診が必要と定められています。詳細については送付予定の資料にてご案内いたします。

4 授業科目の概要及び担当教員

地域政策・制度論 (矢尾板 俊平)	本授業では、地域政策の概念とその政策立案・形成・実施・評価に関する政策サイクルを理解するとともに、地域政策の実践のための知識とスキルを習得することを目指します。 具体的には、地域政策の概念や自治体等の役割、政策過程について学ぶとともに、政策づくりのための方法やコミュニティを活用した地域づくりの方法について学びます。また、実際の政策のシミュレーションを行い、体験的に地域政策を学ぶことを予定しています。
世界動向と国際貢献 (石綿 寛)	「平和」というテーマから現代国際社会及び国際貢献の在り方を学びます。国際政治史・国際関係理論などをてがかりに、現代国際社会における「平和」の意味とそれによる国際貢献の違い、それぞれの課題について講義を実施していきます。国際関係における異なる立場の背景を学ぶことで、複眼的な思考を身につけることを目指します。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科 目 名	実施 時期	曜日	時限	授業時間	定員
生涯スポーツ論	後期	火曜	1 時限	9:20～10:50	若干名
健康のスポーツ栄養学	後期	水曜	2 時限	11:00～12:30	若干名

※授業は 15 回の予定です。令和 7 年 9 月 24 日（水）から開始します。

※原則は対面授業を行います。担当教員の都合により、オンデマンド授業を行うことがありますので、予めご了承ください。

(2) 場所

武蔵丘短期大学

東武東上線東松山駅、東口 3 番バス乗り場から「免許センター」行きまたは「鴻巣駅」行きバスで 7 分（川越観光バス・有料）

または JR 鴻巣駅、西口バス乗り場から「東松山駅」行きバスで約 20 分（川越観光バス・有料）または自家用車（駐車場有り・無料）



2 受講料等

(1) 受講料 1 科目（半期）につき 10,000 円（初講日に徴収）。

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意していただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年9月5日(金) (必着)

(2) 申込先

〒355-0154 埼玉県比企郡吉見町南吉見 111-1

武蔵丘短期大学 教務課

電 話 0493 - 54 - 5101(代)

F A X 0493 - 54 - 6756

(3) 申込方法

はがき又はFAXにて以下の事項をもれなく記入の上、お申し込みください。

(1) 郵便番号、住所

(2) ふりがな氏名

(3) 性別

(4) 生年月日、年齢 (令和7年4月1日現在)

(5) 電話番号

(6) 受講希望科目名

(4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。

(5) その他

受講許可については9月17日頃にお知らせいたします。申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料につきましては、お返しすることはできませんので、予めご了承ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

生涯スポーツ論 (福島 邦男)	エリクソンのライフサイクル論を参考に各ライフステージにおける発達課題達成のためにスポーツがどのような役割、機能を持っているかを理解する。さらに、人生のそれぞれのライフステージにおいてスポーツが自己実現や健康維持、身体的発達とかかわっていることを学び、健康生活に役立つ知識を身につける。
健康のスポーツ栄養学 (長島 洋介)	生活習慣病と運動、食事との関連性について学ぶ、生活習慣病を予防するための運動と食事を提案できるようになる。 健康のために必要な、運動と栄養の知識を十分に身につけ、人々の健康を運動と栄養の側面からアドバイスできるようになる。

にほんしゃかいじぎょうだいがく
日本社会事業大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
社会福祉原論Ⅰ	後期 (9～1月) 9/15(月)～ 1/30(金) (補講日含む)	月	5	16:20～17:50	若干名
スクールソーシャルワーク		木	2	10:40～12:10	
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		金	2	10:40～12:10	
福祉環境論		金	2	10:40～12:10	
子ども家庭福祉論Ⅱ		金	3	13:00～14:30	
障害者福祉論Ⅱ		金	4	14:40～16:10	

(2) 場所

日本社会事業大学 東京都清瀬市竹丘 3-1-30

西武池袋線「清瀬」駅下車

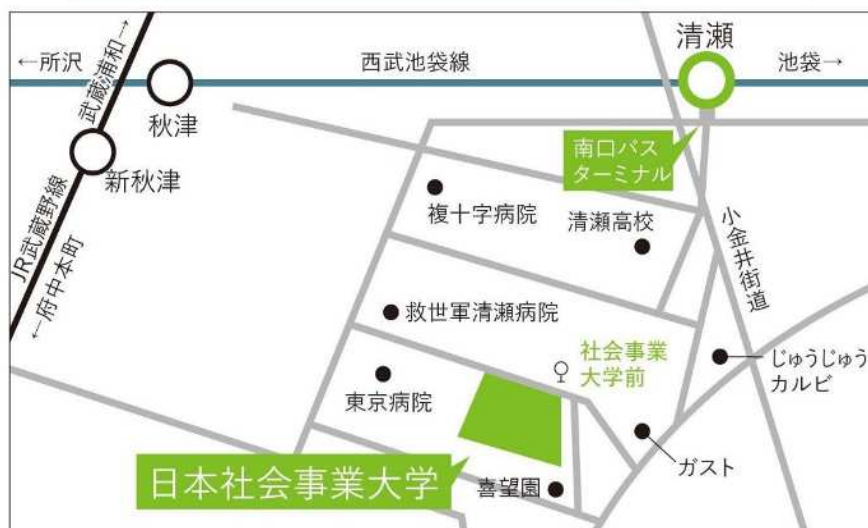
南口バスターミナル2番乗り場より、西武バスに乗車し「社会事業大学前」下車、徒歩すぐ。

下里団地行（乗車時間6分）：「社会事業大学前」下車、徒歩すぐ

花小金井駅行（乗車時間6分）：「社会事業大学前」下車、徒歩すぐ

滝山営業所行（乗車時間6分）：「社会事業大学前」下車、徒歩すぐ

※車での通学はできません。



2 受講料等

- (1) 受講料 1 科目につき 7,500 円
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 2025 年 8 月 31 日(日)
- (2) 申込先
〒204-8555
東京都清瀬市竹丘 3-1-30
日本社会事業大学 大学教務課 開放授業講座係
電 話：042-496-3107
E-mail：gakubu2020@jcsu.ac.jp
- (3) 申込方法
E-mail により、以下の事項をもれなくご記入の上、お申込みください。
 - ①郵便番号、住所
 - ②氏名（フリガナ）
 - ③生年月日、年齢（令和 7 年 4 月 1 日現在）
 - ④電話番号
 - ⑤受講希望科目（何科目でも可）
- (4) 選抜方法
定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。
- (5) その他
原則、対面授業を予定しておりますが、場合によって、オンライン授業（例：Zoom、課題提示）との併用になる可能性がございます。
この場合、学内ではなくご自宅等において、お持ちの端末で受講してください。
※インターネット通信環境に関するサポート及び、端末の貸し出しはございませんので、ご了承の上、お申込みください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

社会福祉原論Ⅰ (有村 大士教授)	社会福祉とは何かを考えるため、社会福祉の領域や専門職の概要について学んだ上で、今日の社会福祉制度や福祉専門職がどのような歴史的経緯の中で生まれてきたのか、その思想はどのように発展してきたのかを学ぶ。そして現代の社会問題、生活問題の状況と社会福祉がなすべきことについて学ぶ。
スクールソーシャルワーク (内田 宏明教授)	いじめ、不登校、発達障がい、教育の格差拡大などと表現される課題に、現代の子どもは直面している。学齢期の子どもには従来から教育職が学校教育の中で向かい合ってきた。そして、近年ではスクールカウンセラーなど心理職の活用によって対応がなされてきている。では、社会福祉の専門職はこれらの課題にどう対面していくことができるであろうか。その一つの模索としてスクールソーシャルワークが注目を集めている。本講義においては、このスクールソーシャルワークをメインテーマとして掲げつつ、福祉と教育の重なり合い（学校福祉）について探求していきたい。その探求の中で必然的に主体である子どもの権利が浮かび上がってくる。「子どもの権利」とは何か、その支援のために具体的にどのような方法で実践するのかを明確にしていきたい。また、近年大きな課題となっている子どもの貧困についても理解を深める。
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ (木戸 宜子教授)	ソーシャルワークの共通基盤となる価値・知識と技術の関係性について概観する。事例をととして理念・原理原則・倫理などの価値、また支援のあり方について学ぶ。自らのこれまでの人生の経験や生活に近づけ、自己の価値観とも向き合いながらソーシャルワークの価値の習得を目指す。
福祉環境論 (下垣 光教授)	福祉環境における環境は、多様な環境を対象としている。福祉環境論では、それらの環境に存在する不適切な人間関係や直面している福祉課題を改善することを目指すため支援モデルを理解する問題解決志向の講義に特徴があります。人間と環境の関係は、「知覚、学習、パーソナリティ」を重視する立場と「物理的社会的環境、生態学的環境」を重視する立場があり、講義ではそれらの論点をはじめとして、個人の発達と環境、支援する環境における具体的な方法などに言及していく。
子ども家庭福祉論Ⅱ (有村 大士教授)	子ども家庭福祉にまつわる課題について検討し、ディスカッションを通じて議論を深める。可能な限り、国際的な話題を織り込むようにし、現在、そしてこれからの支援に必要な視点を得る。
障害者福祉論Ⅱ (富永 健太郎准教授、大部 令絵准教授、二神 麗子講師)	障害者権利条約に規定される障害の定義等を参照しながら、障害児教育の歴史的変遷を概観し、インクルーシブ教育の国際的な動向および思想的・社会的背景とその内容および日本におけるインクルーシブ教育の受容と課題について学習する。その後、障害のある人のライフステージと教育・福祉をテーマに、多様な障害者問題とその問題への具体的な取り組みを紹介する。受講生においては、本講義を受講することにより、様々な障害者問題にたいして視野が拓かれ、当該問題にアプローチする視点が養われることを望む。

大学別・科目別一覧表

大学名	科目名	曜日	時限	授業時間	授業の実施方法	受講料	募集締切
聖学院大学	①キリスト教概論B(※1)	火曜3限 or 火曜5限 or 金曜1限 or 金曜3限		13:00～14:30 17:00～18:30 9:00～10:30 13:00～14:30	対面授業 ・状況によりオンライン授業になる可能性あり ・(※1)科目は、4クラスのうち、1クラス選択 ・(※2)科目は、オンライン授業含む ・週1授業(15回)は、①、④、⑥、⑦ ・週2授業(30回・週1回2限連続含む)は、②、③、⑤	週1回科目 5,000円 週2回科目 10,000円	8月29日(金)
	②社会科学とプログラミング	木 木	1 2	9:00～10:30 10:40～12:10			
	③日本文学研究と批判(古典2)	金 金	4 5	15:20～16:50 17:00～18:30			
	④Smile English(幼児の英語)	木	2	10:40～12:10			
	⑤ファンタジー論(※2)	月 オンライン	4	14:40～16:10			
	⑥社会老年学	月	4	14:40～16:10			
	⑦精神障害リハビリテーション論	木	1	9:00～10:30			
日本薬科大学	社会・集団と健康	火	2	1限 9:15～10:45 2限 11:00～12:30 昼休 12:30～13:30 3限 13:30～15:00 4限 15:15～16:45 5限 17:00～18:30 *印の講義は8～10回 それ以外の講義は14～16回を 予定しています。	お茶の水キャンパスと同時に 授業を行うため、講義によっ てはオンライン講義(オンデ マンド配信)になる可能性が あります。	10,000円	8月19日(火)
	免疫学	火	2				
	応用化粧品論	火	2				
	有機化合物としての医薬Ⅰ	火	2				
	生薬・薬膳論	火	2				
	漢方処方学*	水	2				
	症候と臨床検査	木	1				
	スポーツマネジメント学	木	1				
	生体の構造と機能	木	2				
	衛生科学	木	2				
	薬理Ⅱ	木	2				
	疾病と治療薬	木	2				
	ニューススポーツⅡ	木	3・4				
	生命をミクロに理解する	金	2				
	臨床栄養学	金	1				
東京国際大学	戦略マネジメント・コントロール	火・金	2	10:50～12:30	対面授業	10,000円	8月18日(月)
東邦音楽大学	民族音楽学B	水	4	14:20～15:50	対面授業	10,000円	8月20日(水)
	音楽心理学B	木	3	12:40～14:10			
埼玉県立大学	①生命論理の諸問題③	月	2	10:40～12:10	・①は、オンライン授業(オン デマンド受講) ・⑧は、運動実技の回あり、 体育館シューズと動きやすい 服装が必要。パソコン・ス マートフォンを使用する回あ り、パソコン等が必要 ・⑨は、毎回「Webclass」を 使用のためノートパソコン等 が必要 ・②～⑨は対面授業だが、オ ンライン授業になることもあ り ※全ての科目でインターネット 授業支援システム 「Webclass」を利用し連絡を 行う場合あり	①、②、⑥(8回 相当)6,000円 それ以外(15回 相当)10,000円	8月31日(日)
	②総合文化研究A日本	月	2	10:40～12:10			
	③文化人類学	月	5	16:20～17:50			
	④哲学	月	5	16:20～17:50			
	⑤保育内容「言葉」の指導法	火	5	16:20～17:50			
	⑥免疫学	水	2	10:40～12:10			
	⑦保育内容「人間関係」の指導法	水	4	14:40～16:10			
	⑧幼児と健康	木	1	9:00～10:30			
	⑨ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	金	4	14:40～16:10			
	⑩ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	金	5	16:20～17:50			

大学別・科目別一覧表

大学名	科目名	曜日	時限	授業時間	授業の実施方法	受講料	募集締切
文教大学	North American Studies I	月	1	9:10～10:40	対面授業 ・全ての授業で インターネット授業 支援システム manabaを使用	10,000円	8月18日(月)
	地理学	月	3	13:10～14:40			
	ボランティア論 N	月	3	13:10～14:40			
	演劇論 I	金	1	9:10～10:40			
	文学	金	1	9:10～10:40			
	障害児教育思想史	金	2	10:50～12:20			
埼玉東萌短期大学	心理学	火	5	16:30～18:00	対面授業	10,000円	8月29日(金)
	文学入門	金	5	16:30～18:00			
国際学院埼玉短期大学	食品学各論	水	4	14:40～16:10	対面授業	10,000円	8月22日(金)
	言葉領域指導法	木	3	13:00～14:30			
	特別支援保育 I	火	1	9:00～10:30			
埼玉大学	開発・慣習と行動経済学	木	6	18:00～19:30	必要が生じた場合オンライン で受講	9,800円	8月31日(日)
浦和大学	睡眠文化論	金	4	14:40～16:10	対面授業	10,000円	8月22日(金)
城西大学	近世の日本史Ⅱ	月	1	1時限 9:15～11:00 2時限 11:10～12:55 3時限 13:45～15:30 4時限 15:40～17:25 5時限 17:35～19:20 ・時間帯は変更される場合があります。 ・※印の科目はどちらか一方の時 限を選んでください。	・社会情勢及び、授業担当 者の都合により、オンライ ン授業(オンデマンド)に変 更の可能性あり	10,000円	8月21日(木)
	公立文化施設論	金	2				
	世界の文学B	水	3				
	経営分析Ⅱ	木	3				
	エネルギー科学と社会	木	2				
	生活と化学物質Ⅱ	木	1				
	※漢方薬	火	1				
		火	2				
	化粧品・香粧品学A	月	3				
	ハーブ論	火	3				
	接客英語Ⅱ(CR英語)	水	2				
西武文理大学	公益事業論	火	2	11:15～12:45	対面授業 ・一部オンライン形式など の変更あり	10,000円	9月1日(月)
	経済体制論	水	3	13:30～15:00			
	広告論	金	1	9:30～11:00			
	流通システム論	金	2	11:15～12:45			
	マーケティング・リサーチ	金	3	13:30～15:00			
十文字学園女子大学	ライフコース論	月	4	1限目 9:00～10:30 2限目 10:40～12:10 3限目 13:00～14:30 4限目 14:40～16:10 5限目 16:20～17:50	対面授業 ・状況によりオンライン授 業に切り替える可能性あり	10,000円	8月18日(月)
	日本文学史C	火	2				
	文化と心理学	水	3				
	日本語音声学	木	1				
	食医学	木	3				
	食とアレルギー	金	1				
	日本語学研究A	金	2				
	表現活動(応用)	金	3				
東京電機大学	欧米文化研究	火	3	1時限 9:20～11:00 2時限 11:10～12:50 3時限 13:40～15:20 4時限 15:30～17:10 ※印は、いずれも同一内容の授業 を行います。	対面授業 ・状況によりオンライン形 式となった場合、受講を中 止	10,000円	8月22日(金)
	インテレチュアルヒストリー特論 (大学院)	火	4				
	多文化コミュニケーションB	水	2				
	機器分析	木	3				
	機会力学Ⅰ・演習	木	3・4				
	戦争と平和の歴史※	金	1				
	戦争と平和の歴史※	金	2				
	欧米文化研究	金	3				
	無機・分析化学	金	4				

大学別・科目別一覧表

大学名	科目名	曜日	時限	授業時間	授業の実施方法	受講料	募集締切
埼玉工業大学	工業力学及び演習※	週隔水 毎週水	1 2	1時限 9:10～10:50 2時限 11:00～12:40 3時限 13:25～15:05 4時限 15:15～16:55 5時限 17:05～18:45 ※印は、2限続きの授業となっており、1限は隔週、2限のみの週は演習授業	対面授業	10,000円	8月20日(水)
	工学倫理	木	3				
	環境の科学	木	3				
	生命の科学	金	2				
	ネットワークコンピューティング	木	1				
	MATLABプログラミング	水	4				
	会社法	火	2				
	言語心理学	水	2				
	知覚心理学	月	3				
東都大学	地域と食	木	2	10:55～12:25	対面授業 ・状況によりオンライン授業の可能性あり	10,000円	9月5日(金)
文京学院大学	1.エイジングの心理学	月	2	1限 9:10～10:40 2限 10:50～12:20 3限 13:10～14:40 4限 14:50～16:20 5限 16:30～18:00 No.1～6「人間学部 開講科目」 No.7～11「保健医療技術学部 開講科目」集中授業形式で実施 初回授業日については、63ページをご確認ください。	対面授業	10,000円	9月1日(月)
	2.権利擁護を支える法制度	火	2				
	3.教育の思想と歴史	火	3				
	4.メディア社会学	木	3				
	5.臨床心理学概論Ⅱ	金	1				
	6.障がい者スポーツ概論	金	3				
	7.運動学Ⅰ	集中					
	8.物理療法学Ⅰ	集中					
	9.発達期作業療法学演習Ⅱ	集中					
	10.作業分析学	集中					
	11.神経系作業療法評価学	集中					
日本工業大学	環境とエネルギー	水	1	9:00～10:40	対面授業 ・社会情勢や諸般の事情により変更や中止になる場合あり	10,000円	8月29日(金)
	音響・画像処理	木	2	10:50～12:30			
	電力発生技術	月	3	13:20～15:00			
	感性情報工学	水	3	13:20～15:00			
	世界遺産とアジアの建築	木	1	9:00～10:40			
	ライフスタイルと住空間	金	1	9:00～10:40			
淑徳大学	地域政策・制度論※ (第3クォーター)	火	2	10:40～12:10	※印は、一部の授業回は遠隔形式で実施	10,000円	8月20日(水)
		木	2				
	世界動向と国際貢献	水	4	14:40～16:10	対面授業		
武蔵丘短期大学	生涯スポーツ論	火	1	9:20～10:50	対面授業 ・都合によりオンデマンド授業の場合あり	10,000円	9月5日(金)
	健康のスポーツ栄養学	水	2	11:00～12:30			
日本社会事業大学	社会福祉原論Ⅰ	月	5	16:20～17:50	対面授業 ・場合によって、オンライン授業との併用になる可能性あり	7,500円	8月31日(日)
	スクールソーシャルワーク	木	2	10:40～12:10			
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	金	2	10:40～12:10			
	福祉環境論	金	2	10:40～12:10			
	子ども家庭福祉論Ⅱ	金	3	13:00～14:30			
	障害者福祉論Ⅱ	金	4	14:40～16:10			

【協定大学一覧】

	大学名	所在地
1	聖学院大学	上尾市
2	日本薬科大学	伊奈町
3	尚美学園大学	川越市
4	東京国際大学	川越市
5	東邦音楽大学	川越市
6	ものづくり大学	行田市
7	埼玉県立大学	越谷市
8	文教大学	越谷市
9	埼玉東萌短期大学	越谷市
10	国際学院埼玉短期大学	さいたま市大宮区
11	埼玉大学	さいたま市桜区
12	浦和大学	さいたま市緑区
13	城西大学	坂戸市
14	女子栄養大学	坂戸市
15	西武文理大学	狭山市
16	十文字学園女子大学	新座市
17	東京電機大学・大学院	鳩山町
18	埼玉工業大学	深谷市
19	東都大学	深谷市
20	文京学院大学	ふじみ野市
21	日本工業大学	宮代町
22	淑徳大学	三芳町
23	武蔵丘短期大学	吉見町
24	日本社会事業大学	東京都清瀬市

皆様の御参加お待ちしております

■ 受講者の皆さまの声を一部ご紹介します。

- 先生が言われる通り「社会人にとってリカレント教育は理想的な学びの時間である」は、今回始めて利用して実感できたことです。
- 先生が、リカレント生にも気を使ってくださり、分かりやすい授業でした。感謝申し上げます。



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

- 学生さんと同じクラスで、活気に溢れた授業で大いに刺激を受けました。
- 長い年月を経て、再度大学での授業を受けることができたのは新鮮でした。
- 定期的に通学する事で生活のリズムの継続に繋がり有益です。
- 開放授業講座の良さを皆さんに知ってもらいたいです。

埼玉県福祉部高齢者福祉課

住所：埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話：048-830-3263 / FAX：048-830-4781